

低周波・電位・超短波組合せ家庭用医療機器

マイはるかぜ〈DX〉

添付文書

取扱説明書



管理医療機器
 低周波・電位・超短波組合せ家庭用医療機器(JMDNコード: 70992000)
myはるかぜ
 医療機器認証番号 222ACBZX00041000

目次

正しく安全にお使いいただくために……	2~13
一般的注意事項	4
使用前のご注意	6
使用中のご注意	9
使用後のご注意	11
保管方法及び有効期間等	11
取扱上のご注意	12
保守・点検に係る事項	12
myはるかぜDX の構成内容	14
本体の各部名称とはたらき	16
myはるかぜDX の主な特長	18
超短波	20
治療前の準備	21
本体の操作方法	22
電位	24
治療前の準備	25
本体の操作方法	27
低周波	29
治療前の準備	30
本体の操作方法	34
治療終了時のブザー音設定	37
故障かな?と思ったら	38
操作早わかり	39
お客様安心サービス	40
保証書の発行について	アフターサービス
ISO認証取得	健康セミナー

このたびは「myはるかぜDX」をお買い求めいただき、ありがとうございます。
 本器を使用する前に取扱説明書をよく読み、正しくお使いください。
 また、いつでもお読みいただけるよう、大切に保管してください。

正しく安全にお使いいただくために

- 取扱説明書は本治療器を安全にお使いいただくために必要です。治療器を人に貸したり、差し上げる時には必ずこの取扱説明書を一緒にお渡してください。
- ご使用前に、この「取扱説明書」をよく読み、注意事項を守り正しくお使いください。

禁忌・禁止

次のような人及び部位には、使用しないでください。

	超短波	電位	低周波
・糖尿病などによる高度な末しょう(梢)循環障害による知覚障害のある人	×	×	×
・重度な血行障害のある部位	×		×
・中程度以上の重い浮腫のある部位	×		×
・血友病などの出血性素因の高い人	×		×
・心臓病と診断され、日常の過激な運動を制限されている人		×	
・温熱に対して感覚の鈍い人や温度感覚喪失が認められる人	×	×	×
・金属製物質（人工骨頭、埋没くぎ、金属製クリップなど）やプラスチックなどを体内に植え込んだ部位	×		
・刺青及びその周辺部位・ラメ素材等化粧品が使用されている部位	×		
・出血部位または月経時の腹部	×		
・乳幼児（6才以下）	×	×	
・男性生殖器	×		
・適用部位の皮膚に異常（感染症、創傷など）のある人	×	×	×
・静脈怒張の皮膚表面（静脈が浮き出る状態）			×
・萎縮性拘縮を起こしている皮膚表面			×
・頭部（脳、目、耳等）	×	×	×
・頸動脈洞上			×
・その他、医師が不相当と認めた人	×	×	×

併用禁忌

・ペースメーカー、植込み型除細動器などの電磁障害の影響を受けやすい体内植込み型医用電気機器とは同時に使用しないでください。	×	×	×
・心電計などの装着形の医用電気機器とは同時に使用しないでください。	×	×	×
・補聴器とは同時に使用しないでください。	×		
・他の医療機器や電気機器とは同時に使用しないでください。使用する場合は時間をずらして使用してください。	×	×	×

- あなたや他の人への危害や財産への損害を未然に防止するために、下記のような絵表示をしています。危害や損害の程度を表していますので、内容を理解してから本文をお読みください。



危険

取扱いを誤ると、人が死亡または重傷を負う危険が差し迫っていることが想定される内容を示します。



警告

取扱いを誤ると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示します。



注意

取扱いを誤ると、人が傷害を負う可能性、または物的損害が想定される内容を示します。

表示例



は、本器の取扱いにおいて、発火、破裂、高温等に対する注意を喚起するための絵表示です。

※表示例は「感電注意」です。



は、本器の取扱いにおいて、その行為を禁止する絵表示です。

※表示例は「分解禁止」です。



は、本器の取扱いにおいて、指示に基づく行為を強制する絵表示です。

※表示例は「プラグをコンセントから抜く」です。



愛情点検

は、修理点検の確認をお願いする絵表示です。

この取扱説明書のイラストはイメージであり、実際とは異なる場合があります。

正しく安全にお使いいただくために

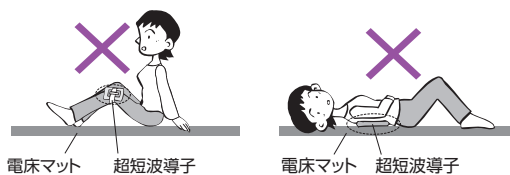
一般的注意事項

危険

浴室などの湿度の高い所では使用しないでください。

電床マットの上では、超短波（マイクロ波を含む）を使用しないでください。

電床マットが焦げて火傷または熱傷、火災などの恐れがあります。（電床マットが本体に接続されていない場合も同様です）



警告

他の治療器の部品や付属品などを流用しないでください。

規格や仕様が異なるため、事故や故障の原因となります。

治療や日頃の健康管理以外の目的で使用しないでください。

特にペットへの使用は避けてください。

本体背面の通気孔をふさぐような使い方（布団の上や下に置いたり、壁に寄せるなど）はしないでください。

本体内部が熱をもち、故障の原因となります。

本体を寒い場所から温かい場所に移動した直後に使用しないでください。

本体内部で「結露現象」が生じる恐れがあります。この状態で使用すると表示部の誤作動や故障の原因となります。使用する時は移動後2時間以上経過してから電源を入れてください。

交流100V、50/60Hz以外では使用しないでください。

規格の異なる海外での使用は発火、ショート、感電などの原因となります。

本体の出力口に差し込んだプラグを踏みつけたり、大きな力を加えたりしないでください。

プラグや出力口が破損し、事故や故障の原因となります。

警告

定められた手順で操作してください。また、子供には操作させないでください。操作を誤ると事故や故障の原因となります。

本体の上に重いものや飲み物などを置かないでください。

内部に水が入ると発火・ショートなどの事故や故障の原因となります。

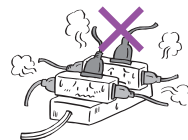
コード類のプラグにゴミ、ほこりなどを付着させたまま使用しないでください。

発火、ショートなどの原因となります。

電源コードなどすべてのコード類を傷つけたり、破損したり、無理に引っ張ったり、ねじったり、束ねたり、挟み込んだりしないでください。

コンセントや配線器具の定格容量を超える使い方はしないでください。

タコ足配線などで定格容量を超えると発熱による火災の原因となります。また、タコ足配線をするると本器や他の電気製品がお互いに誤作動する可能性があります。



水のかからない場所に設置してください。

補助を必要とする人（子供を含む）には使用させないでください（ただし、保護者、医師または専門家の監督下で使用する場合は除く）。また、子供が機器本体及び導子の上で遊んだり、上に乗ったりしないようにしてください。

注意

本器は、一人用家庭用治療器であり、複数の人が同時に使用しないでください。

治療部位や症状、回数などは年齢や体調などにより個人差があります。取扱説明書をよくお読みになり、定められた使用時間を超えないようにしてください。不明な点はお求めの販売店またはお客様相談室（P.40）に相談してください。

注意

- 使用しても効果が現れない場合は、医師または専門家に相談してください。
- 本体は安定状態を保つように心がけ、傾斜、振動、衝撃（運搬時を含む）などが発生しないように注意してください。

注意

- 温度、湿度、日光、ほこり、及び塩分・イオン分を含んだ空気などにより悪影響の生ずる恐れのない場所に設置してください。
劣化を早め、事故や故障の原因となります。

超短波

危険

- 電床マットの上では、超短波（マイクロ波含む）を使用しないでください。
電床マットが焦げて火傷または熱傷、火災などの恐れがあります。（電床マットが本体に接続されていない場合も同様です）
- 超短波治療する場合、粘着パッド・電床マットは、必ず本体から抜いてください。また、粘着パッドは身体から外し、電床マットは取り除いてください。
火傷や、焼け焦げの原因となります。
- 電源が入っていない状態、あるいは電源コードを接続していなくても、導電性のあるものの上では使用しないでください。
例）電位（高周波を含む）電床マット、電気毛布や敷布、電気カーペット
電気毛布や電床マットが焦げて火傷または熱傷、火災などの恐れがあります。

警告

- 超短波導子にソース・醤油・墨汁・インクなどをこぼした場合は、火傷または熱傷、ならびに焼け焦げの原因となりますので、新しい導子と交換してください。また、導子カバーは、洗濯などで汚れを落とし、十分乾燥させてからご使用ください。

警告

- 超短波導子は水に濡らさないでください。万一濡らしてしまった場合は、使用せず、新しい導子と交換してください。
- 治療中、温感が高すぎると感じた時は、我慢せずに治療を中止してください。または、タオルなどをあてて、熱さを弱めて治療してください。
- 導子を強く折りたたんだり、きつく丸めたり、重い物を乗せたりしないでください。
- 他の治療器や電気製品（電気毛布や電気カーペット、敷布、こたつ、あんかなど）との同時使用はしないでください。
過度な刺激で体調を損なったり、電気製品が誤作動したり、電気カーペットが焦げるなど事故の原因となります。
- 電動ベッドの上で治療器を使用する場合は、必ず電動ベッドの電源を抜いてください。
誤作動や故障の原因となります。

電位

危険

- 電床マットの上では、超短波（マイクロ波含む）を使用しないでください。
電床マットが焦げて火傷または熱傷、火災などの恐れがあります。（電床マットが本体に接続されていない場合も同様です）

警告

- 他の治療器や電気製品（電気毛布や電気カーペット、敷布、こたつ、あんかなど）との同時使用はしないでください。
過度な刺激で体調を損なったり、電気製品が誤作動したり、電気毛布や電気カーペットが焦げるなど事故の原因となります。

警告

- 電床マットが濡れていたり、湿っている場合は、十分に乾燥させてから使用してください。ドライヤーを使用したり、ストーブにあてるなど急激な乾燥はしないで、陰干しなど自然に乾燥させてください。
- 連続して8時間以上使用しないでください。
電源を入れたまま放置すると機器の寿命を縮めたり、事故の原因となります。

正しく安全にお使いいただくために

一般的注意事項 **電位** (つづき)

警告

- ⊘ 電床マットに金属を接触させたり出力口に金属製の棒やハサミ、ピンなどを差し込まないでください。また、電床マットのコードには、金属類を近づけたり他の電気のコードと交わらないようにしてください。

感電、発火の原因となったり、他の電気製品に異常を起こすなどの恐れがあります。

注意

- ⚠ 梅雨期や湿気の多い地域では、電床マットや布団を十分乾燥させるなど、絶縁状態をできるだけよくしてください。絶縁状態が悪くなると効果が弱まります。
- ⚠ 電床マットの汚れは薄めた中性洗剤液を含ませたブラシで軽く拭いてください。

使用前のご注意

警告

- ⚠ 導子（コード、プラグを含む）の損傷やコネクタの接続不良などが無いか、使用前に確認してください。万が一、不具合が確認された場合は、使用しないでください。


販売店または製造販売元へお問い合わせください。

- ⚠ 導子を使用する際は、正しく装着してください。また、同じ部位で2つの導子を重ねて治療しないでください。

- ⚠ 全てのコードは容易に離脱しないように正しく確実に接続してください。また、同じ部位で2つの導子を重ねて治療しないでください。

発火やショートなどの原因となります。

警告

- ⚠  しばらく使用しなかった治療器を再使用するときは、使用前に必ず治療器が正常かつ安全に作動することを確認してください。また、6ヶ月以上使用しなかった場合は、使用前に販売店で点検を受けてください。

スイッチなどを入れ、本体と付属品が正常かつ安全に作動するか確認してください。

注意

- ⚠ 操作つまみ、ダイヤル、スイッチ、タイマーなどが正常に作動するか確認してください。

超短波

警告

- ⚠ 次のものを身に付けたまま使用しないでください。また、ご不明な点は販売店または製造販売元へお問い合わせください。

- 使い捨てカイロ
- 金属類（ネックレス、ベルト、時計、メガネ、イヤリング、車のキー（キーレスエントリーキー含む）など）
- 導電性衣料（光により熱が高まる機能繊維、サンダーロン®繊維使用もしくはジャンヌ・ダルクなどのサンダーロン®繊維を含む肌着などの衣料、ラメ入り、金糸・銀糸入りや炭素繊維・静電気防止用繊維など）

警告

また、次のようなものの上や周囲では使用しないでください。

- 特殊綿（プラチナ繊維、トルマリンなど）や炭素材入り布団・まくら
- 磁気入り布団
- 墨入り（炭素材など）の畳
- ソース・醤油・墨汁・インクなどのシミがついた座布団・布団・畳

火傷または熱傷などの事故の原因となります。

- ⊘ 絆創膏または湿布などの湿った包交物、ゲルマや磁気治療器などの金属物を含む絆創膏の上への照射は避けてください。また、使い捨てカイロも身体から外してください。

警告

- 治療部位の皮膚が乾燥していることを確認してください。湿布剤、塗膏剤などが塗られていたり、汗などで濡れている場合は、必ず拭き乾燥させてください。

皮膚が濡れたままで治療すると火傷または熱傷の原因となります。

- 気分が悪くなることがありますので、空腹時、腹部に超短波を透射することは避けてください。

- 汚れた衣服や汗などで濡れたタオルを使用して治療をするのはおやめください。

- 使用中の導子を本体や金属類（電気製品、ワゴン、ラメ入り畳や座布団など）、付属品類（電床マット、粘着パッド、接続コードなど）の上に絶対に置かないでください。

熱をもち事故や故障の原因となります。

- 2つの導子が重なる状態で放置したり、重ね合わせて使用したりしないこと。また、コードを束ねたり、巻きつけて使用したりしないでください。

熱をもち事故や故障の原因となります。

警告

- おむつを使用している部位へは照射しないでください。

火傷などの危険があります。

注意

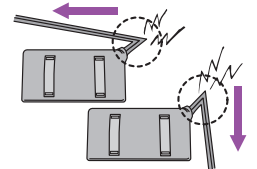
- 導子コードは、超短波の影響を受けやすいもの（金属や炭素繊維など）や、他の電気製品のコードと接触しないように配置してください。

- 金属枠を使用したイスやベッドなどの上で使用しないでください。

ピリツとしたり、火傷または熱傷の原因となります。また、治療中に周囲のイスやベッドなどの金属部や、他の人に触らないよう注意してください。

- 下図のような方向にコードが引っぱられないように、超短波治療器本体を置いてご使用ください。

コード付け根部分の芯線が断線しやすくなります。



- 金属繊維などの導電性物質を含む布団とともに使用しないでください。

- 導子が濡れている場合には、使用しないでください。

低周波

警告

- 治療部位が汗やお風呂あがりなどで濡れていないか確認し、きれいに拭いてください。

濡れたままですと、火傷の原因となります。

- 心臓部へ粘着パッドをあてるのは、絶対におやめください。

警告

- 口中・陰部などには、使用しないでください。

けがなどの原因となります。

注意

- 金属繊維などの導電性物質を含む布団とともに使用しないでください。

次の人は、医師と相談の上、使用してください。.....

警告

- 病名などがはっきりしない人
- 悪性しゅよう（腫瘍）のある人
- 心臓に障害のある人
- 妊産婦
- 体温38℃以上（有熱期）の人

例1) 急性炎症症状 [けん（倦）怠感、悪寒、血圧変動など] の強い時期

例2) 衰弱しているとき

警告

- 安静を必要とする人
- 血圧異常の人
- せきつい（脊椎）の骨折、ねんざ（捻挫）、肉離れなど、急性 [とう（疼）痛性] 疾患の人
- その他医師の治療を受けている人や身体に異常を感じている人

正しく安全にお使いいただくために

使用前のご注意（つづき）

次の人は、医師と相談の上、使用してください。（つづき）

超短波



- ！ 血栓症の人
- ！ 低温やけどをしたことのある人
- ！ 寝たきりの人

電位



- ！ 血管障害の恐れのある血圧異常の人
- ！ 寝たきりの人

次の人は介護者のもとで使用してください。



- ！ マヒなどで身体の自由が利かない人
- ！ 7～12歳の子供

1時間以上使用する場合、次の人は、医師と相談の上使用してください。

電位



- ！ 高血圧の人
- ！ 不整脈のある人
- ！ 睡眠時無呼吸症の人
- ！ ぜん(喘)息の人

次のような人や部位への使用は、慎重に判断してください。



- ！ 認知症の人や、意思表示ができない人
- ！ 睡眠薬を飲んだ人（判断能力を欠き事故の原因となります）
- ！ 判断能力を欠くほどお酒を飲んだ人

超短波



- ！ 皮膚知覚が低下している人、または部位
- ！ 成長期の子供の骨端、または骨が非常に突起した部位

低周波



- ！ 血管障害の恐れのある血圧異常の人
- ！ 皮膚知覚が低下している人や部位
- ！ 胸部近辺

使用中のご注意

警告

- ❗ 本器に異常を感じた時（異常音がする・本体が熱いなど）は、直ちに使用を中止してください。

電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。

- ❗ 身体に異常を感じたり、現れたりした時（発赤など）は、直ちに使用を中止し、医師に相談してください。

症状が悪くなることがあります。

- ❗ 治療目的にあった治療時間・出力を超えないように注意してください。

- ⚡ 雷や地震、停電時は使用を中止し、操作つまみ、ダイヤル、スイッチなどを元の位置に戻し、電源プラグをコンセントから抜いてください。

復帰時に事故や故障の恐れがあります。

警告

- ⊘ 導子に金属を接触させたり、出力口に金属製の棒やハサミ、ピンなどを差し込まないでください。また、導子のコードには金属類を近づけたり、他の電気のコードと交わらないようにしてください。

感電、発火の原因となったり、他の電気製品に異常を起こすなどの恐れがあります。

注意

- ❗ 本器は使いやすい姿勢で、緊張せずにリラックスして治療してください。

- ❗ 粘着パッドを使用し、身体に異常を感じたり、発疹、発赤、かゆみなどが現れたりした場合は、直ちに使用を中止し、医師に相談してください。

- ❗ 使用中、導子コードの抜き差しをしないでください。また、抜く時は電源が切れていることを確認してください。

事故や故障の原因となります。

超短波

警告

- ❗ 使用当初、低血圧や貧血、または虚弱体質の人は、疲労感を覚えることがあります。また、身体異常（発赤、腫脹、頭痛、ふしぶしの痛みなど）が現れたり、感じた時は、直ちに使用を中止してください。

中止しても症状が軽減しない場合は、医師に相談してください。

- ❗ 導子コードは特性上、使用中に一定の熱を持ちます。また、長時間の使用や使用方法、出力設定などによっては、温度が上昇することがあります。

- ❗ 超短波導子は素肌の上から直接あてず、またコードも直接素肌に触れないようにして、必ず乾いたタオルや服の上からあててください。

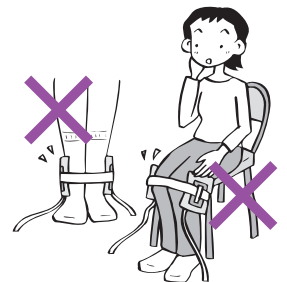
直接あてると、火傷または熱傷などの原因となります。

- ❗ ヒジ・ヒザなど骨のとび出た部位へ導子をあてる時は、衣服の上から使用する場合でも、乾いたタオルをあてがってください。

火傷の原因となります。

警告

- ⊘ 足首や膝を合わせた状態で左右両側から導子をあてる治療は、絶対にしないでください。タオルなどをあてがっても、左右の足が触れることがあり、接触部に火傷または熱傷を起こす恐れがあります。



- ⊘ 超短波導子のパッドとイス・ベッド・床などの間にコードが挟まった状態で使用しないでください。

パッドがコードに作用して、異常発熱する恐れがあります。



- ❗ 治療中に汗をかいた場合は、すぐに拭いてください。

火傷の原因となります。

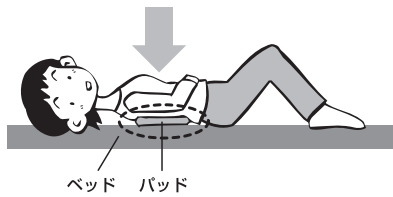
正しく安全にお使いいただくために

使用中のご注意 **超短波** (つづき)

警告

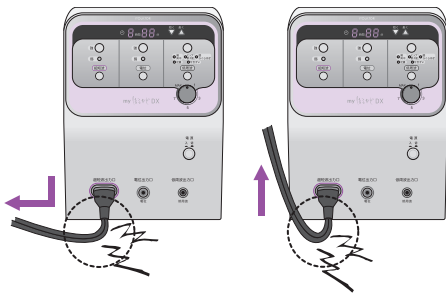
- 超短波導子のパッドが身体とイス・ベッド・床などの間で強く圧迫された状態での使用はお避けください。

パッドが異常発熱したり、火傷または熱傷をする恐れがあります。またイス・ベッド・床・ふとんなどが焦げる恐れもあります。



- 使用中、下図のような方向にコードを引っぱらないでください。また、超短波導子を抜く際は、プラグを持って抜いてください。

プラグの根元や内部で断線しやすくなります。



注意

- 治療中にむやみに超短波導子やコードに触れないようにご注意ください。導子などに触れる場合は、一度電源を切ってください。

チリッと熱い感覚を受けることがあります。

- 厚手の衣服やタオルを厚めにして使用した場合、温感が感じにくい場合があります。

- 電話(携帯電話を含む)やインターフォン、テレビのリモコンやパソコン、精密機器などを使用しながら治療しないでください。また使用中の電話機やインターフォン、自動ドアや火災報知器のセンサーの近くで治療しないでください。

電話機にノイズが入ったり、故障の原因となります。他の電気製品とはできるだけ(2m以上)距離をあけて使用してください。他の電気製品に異常を起こしたり、逆に電気製品の影響で異常が発生したりする恐れがあります。

電位

警告

- 治療中、電床マットの外にいる人や金属類に触れないでください。触れると、ピリッとすることがありますが、人体に害はありません。

警告

- 電位の治療にあたっては、徐々に身体を慣らしてください。治療開始した当初から通常の強さで始めると、かえって頭痛、けん怠感、めまい、発熱、ふしぶしの痛みなどの症状がでてくる場合があります。特に低血圧、貧血症などや虚弱体質の人に多いものですが、念のため、医師にご相談ください。

低周波

警告

- 身体が慣れてからも、低周波を15分以上かける場合は、「快く感じる」程度の出力で治療してください。
- 刺激感覚が低下している方は、はじめは通常よりも出力を特に弱めにしてください。

警告

- 低周波出力調節つまみは、必ず「0」の位置から出力を上げてください。安全回路が働いて、途中位置からでは出力されません。故障かなと思ったら、低周波出力調節つまみを確認してください。

使用後のご注意



電源を切ってから電源プラグをコンセントから抜いてください。



コード類の抜き差しは必ずプラグを持って行ってください。

コードを持って行くと断線やショートなどの原因となります。



操作つまみ、ダイヤル、スイッチなどを元の位置に戻した後、電源を切ってください。



電源コードを本体背面のフックに巻き付ける際、コードを強く巻き付けると本体からのコード引き出し部やコード自体にストレスが加わり断線する恐れがあります。



使用中断する場合や使用後は必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。

導子のプラグも出力口から抜くなど、治療後は使用前の状態に戻してください。



次回の使用に支障がないように清浄し、付属品袋に入れて、整理保管してください。また、お手入れは水かぬるま湯を含ませて固く絞った布で拭いてください。水洗いなどはしないでください。

変色・変形の原因となるのでシンナー、ガソリン、灯油などの揮発油や磨き粉、熱湯、薬品類で拭かないでください。



機器を衛生的に保つための清掃、予防点検及び保守に関しては、「保守・点検に係る事項」を参照してください。

低周波



粘着パッドと皮膚は使用后、清拭して常に清潔にしてください。

保管方法及び有効期間等

保管場所については次の事項に注意してください。故障の原因になることがあります。



風呂場、台所、車の中、火気の近く、直射日光の当たる場所など、湿度の高い場所やほこりの多い場所、水のかかる場所ならびに塩分・イオン分を含んだ空気などにより悪影響の生ずる恐れのある場所には保管しないでください。

機器の寿命を縮めたり、熱や水分などにより本体変形や、火災や感電などの原因となります。



長期間ご使用にならない場合は、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。

絶縁劣化による感電や漏電火災の原因となります。



お子様の手の届かない所に保管してください。

落としてけがや破損の原因となります。








本体は安定状態を保つように心がけ、傾斜、振動、衝撃（運搬時を含む）などが発生しないように注意してください。

正しく安全にお使いいただくために


取扱上のご注意

警告



- 濡れた手で本体の操作は、絶対におやめください。
感電の原因となります。
- 機器及び付属品または容器・包装品などを廃棄する場合は、環境への影響を少なくするため、地域で定められている規則に従って処分してください。
- 本体や付属品が傷ついたり破損している場合は、使用しないで買い求めの販売店または製造販売元へご連絡ください。
- 本体ケースは絶対に開けないでください。内部は高電圧が発生しており、感電する恐れがあります。
- 間違った使用や乱暴な取り扱い、あるいは長年の使用は、コードの断線などにより、火傷または熱傷・火災など思わぬ事故の原因となることがあります。

電位



警告

- 電床マットは、強く折りたたんだり、きつく丸めたり、重い物を乗せたりしないでください。

警告

- 機器を他にぶつけたり、倒したり、落下など強い振動や衝撃を与えないでください。その時に異常がなくても内部の損傷が進み、故障、事故の原因になることがあります。
誤って落とした場合は、必ず点検を受けてください。
- 一度使用した医療機器（中古医療機器）を業として他に販売、譲渡または貸与する場合は、必ず事前に製造販売元へ連絡してください。
点検・修理を行い安全を確認された機器以外は、販売・貸与・譲渡はできません。
注）販売・貸与を業として行うには、「管理医療機器販売業」と「管理医療機器貸与業」の届けをして、さらに「古物営業法」の許可を受けていることが必要です。



警告

- 電床マットにアイロンをかけたり、アイロン台の代わりにしないでください。
- ナフタリンなどの防虫剤と一緒に保管しないでください。


保守・点検に係る事項

注意事項


警告

- 本体や付属品を勝手に修理したり、改造したりしないでください。
故障かなと思ったら使用を中止し、買い求めの販売店または製造販売元へお問い合わせください。
- 本体及び付属品のお手入れに際しては、シンナー、ガソリン、灯油などの揮発油や磨き粉、熱湯、薬品類で拭かないでください。変色、変質の原因となります。アルコール、水、ぬるま湯または中性洗剤を含ませて、固く絞った布で拭いてください。

警告

- 本体ケースは絶対に開けないでください。内部は高電圧が発生しており、感電する恐れがあります。



- 本体や付属品は安全に使用し、性能を維持するために定期的（1年を目安）に点検を受けましょう。特に導子類の付属品は消耗品ですので、定期的に交換してください。
使用状態・条件により異なりますので、販売店または製造販売元へお問い合わせください。



3年以上使用した付属品による事故については、当社は責任を負いかねる場合があります。



本体のお手入れは、電源プラグをコンセントから抜いて行ってください。
感電などの事故の原因となります。

超短波



超短波導子は消耗品です。より安全にお使いいただくために、無理な使用は避け、丁寧に取り扱いってください。

また、使用頻度、条件により異なりますが、ご家庭で通常の使用状態で、年1回は点検を受け、付属品は遅くとも3年以内で早めに交換してください。

万一、コードに折れやキズ、焦げ跡があったら使用を中止し、即交換してください。

電位



通電形局所導子は頭部または皮膚疾患部には接触させないでください。

使用者による保守点検事項



機器及び付属品は使用に際し、正しく作動することを日常的に点検してください。

しばらく使用しなかった機器を再使用するときは、使用前に必ず機器が正常かつ安全に作動することを確認してください。



事前のチェックや点検などで不具合（付属品の絶縁：電源コードなどコード類のキズ、ひび割れ、断線のしかかり、電源プラグやコネクタの接続不良など）が見られた場合は必ず販売店または、製造販売元にご連絡ください。

業者による保守点検事項



性能を維持し、安全に使用するため、定期的（1年を目安）にお求めいただいた販売店または製造販売元に「定期点検」を依頼してください。



消耗部品（付属品を含む）は定期的に変換し、付属品及び機器使用中の危険防止を図ってください。

保守点検項目

項目	内容	方法
外観及び表示について	外観に損傷はないか、パネルは変形していないか、表示がちらついたりしていないか確認する。	目視による確認
操作	電源スイッチをONにし、正常に動作するか、不具合はないか確認する。	操作による確認
付属品	損傷部分はないか、コードに断線部分はないか確認する。	目視による確認

交換部品及び消耗品

名称	交換方法	交換時期
超短波導子	販売店または製造販売元に依頼	点検により劣化が認められた時 購入から3年が目安
電床マット		
接続コード〈φ2赤・黒・myはるかぜDX〉		粘着力が弱まったと感じた時
粘着パッド		
装着ベルト		劣化が認められた時
装着ベルトストッパー〈グレー〉		

myはるかぜDXの構成内容

本器を初めてご使用になる前に、以下の付属品が揃っているか必ずご確認ください。

本 体

※本体の各部名称とはたらきはP.16～17をご覧ください。



定格電源	AC100V 50/60Hz
定格消費電力	最大 80W (超短波：80W 電位：7W 低周波：6W)
本体寸法 (mm)	285 (幅) × 256 (奥行) × 385 (高さ)
本体重量	約 5.5kg

●超短波

周波数	27.12 MHz ± 162.72 kHz
超短波出力	最大 18W ± 30%
タイマー	最大 30 分

●電 位

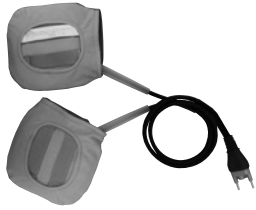
出力電圧	800V ± 30%
タイマー	最大 8 時間

●低周波

出力電流	15.5mArms ± 30%
出力電圧	72V ± 30%
出力周波数	500Hz ± 25%
タイマー	最大 60 分

付 属 品

超 短 波



超短波導子MY-W〈myはるかぜDX〉
… 1個

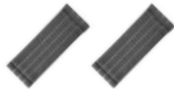


導子カバー … 2枚

超短波導子MY-W〈myはるかぜDX〉用のカバーです。
工場出荷時は超短波導子MY-W〈myはるかぜDX〉に
セットされています。

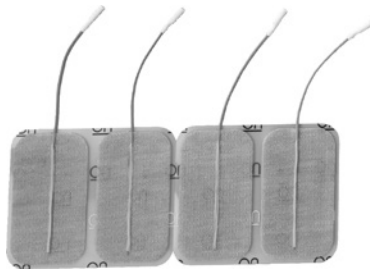


装着ベルト〈L・AW〉 … 1本



装着ベルトストッパー〈グレー〉… 2本

低 周 波



粘着パッド〈L・Aタイプ〉 … 1パック



接続コード〈φ2赤・黒・myはるかぜDX〉
… 1本

電 位



電床マット〈L・薄緑〉 … 1個



付属品袋 … 1枚

別 売 付 属 品 より効果的な治療を行うために

超 短 波



超短波導子MY〈myはるかぜDX〉
… 1個

導子カバーは、工場出荷時に超短波
導子MY〈myはるかぜDX〉に
セットされています。

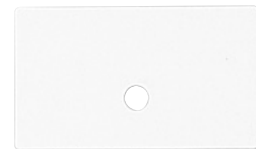


装着ベルト〈L〉
… 1本

低 周 波

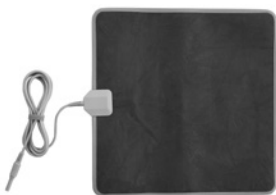


粘着パッド〈M・Aタイプ〉
… 1パック



粘着パッド貼付台紙
… 1個

電 位



電床マット〈S・薄緑〉
… 1個



電位局所導子VS
〈myはるかぜDX〉
… 1個



ローラー&スポット導子〈SR-A〉 … 1個

本体の各部名称とはたらき

電位出力ランプ

電位出力選択ボタン

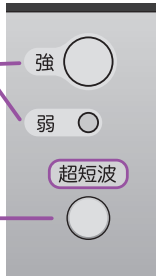


電位出力は「強」に初期設定されています。出力を変える場合は、電位出力選択ボタンを押し、「弱」にします。出力強度は電位出力ランプで表示されます。

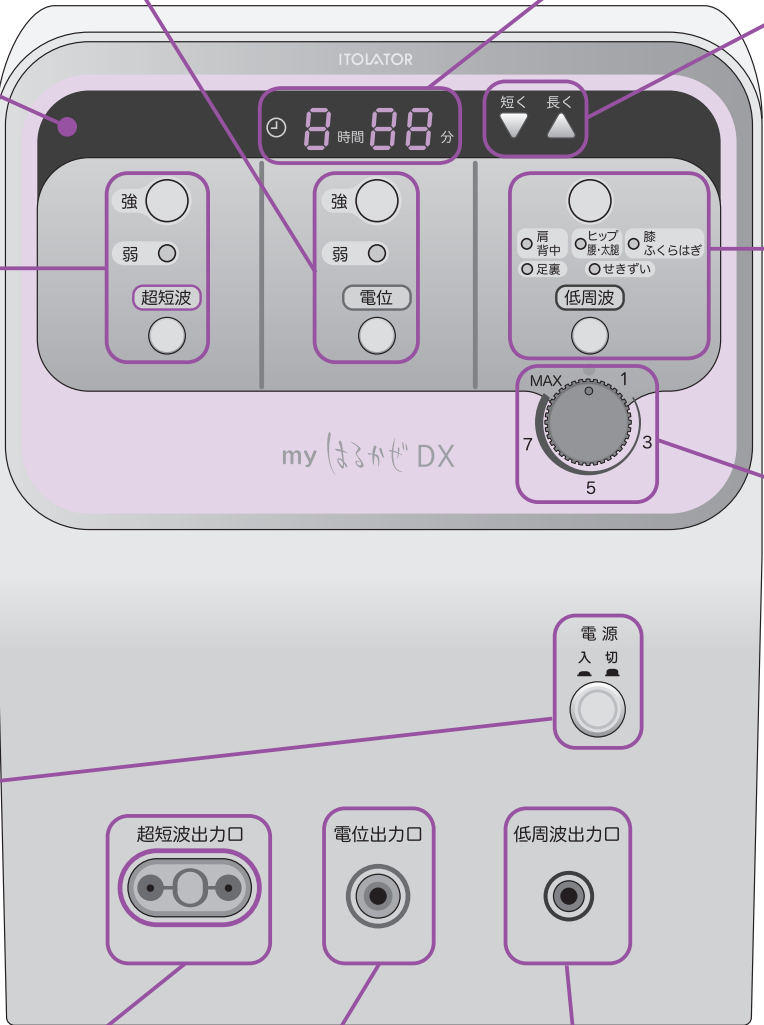
操作パネル

超短波出力ランプ

超短波出力選択ボタン



超短波出力は「強」に初期設定されています。出力を変える場合は、超短波出力選択ボタンを押し、「弱」にします。出力強度は超短波出力ランプで表示されます。



電源スイッチ

スイッチを押して、電源の「入」「切」を行います。電源が入るとタイマーが「0」分を表示します。



超短波出力口

超短波導子のプラグを差し込みます。

電位出力口

電床マットのプラグを差し込みます。

低周波出力口

接続コードのプラグを差し込みます。

タイマー表示



タイマー変更ボタン



超短波

タイマー表示は20分に初期設定されています。
治療時間を変更する場合は、タイマー変更ボタンを押し、5分・10分・15分・20分・25分・30分に設定することができます。

電位

タイマー表示は30分に初期設定されています。
治療時間を変更する場合は、タイマー変更ボタンを押し、5分・10分・15分・20分・25分・30分・1時間・2時間・4時間・8時間に設定することができます。

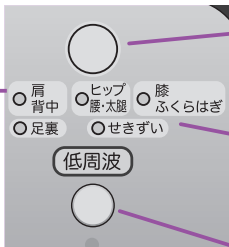
低周波

タイマー表示は20分に初期設定されています。
治療時間を変更する場合は、タイマー変更ボタンを押し、5分・10分・15分・20分・25分・30分・35分・40分・45分・50分・55分・1時間に設定することができます。

低周波出力ランプ

低周波プログラムランプ

低周波プログラム選択ボタン

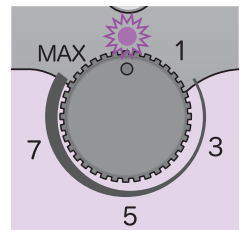


低周波プログラムは「肩・背中」に初期設定されています。プログラムを変える場合は、低周波プログラム選択ボタンを押します。プログラムは「肩・背中」→「ヒップ・腰・太腿」→「膝・ふくらはぎ」→「足裏」→「せきずい」の順に切り替わります。

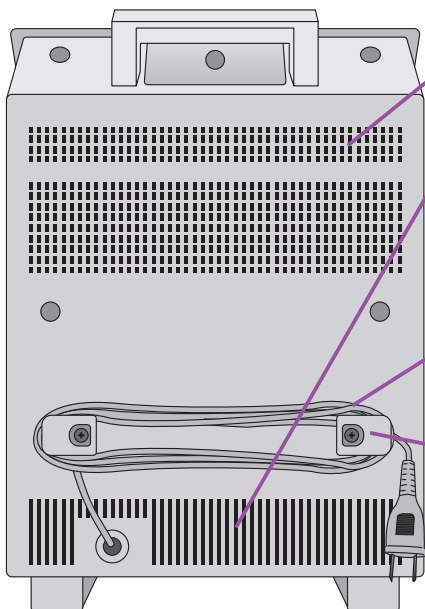
低周波出力調節つまみ

低周波の出力を調節します。
出力開始時につまみが「●」の位置にない場合は、ゼロスタートランプが点滅し、ブザーが鳴り出力されません。この場合、つまみを「●」の位置まで戻し、ゼロスタートランプが消えたことを確認してから、徐々に時計方向にまわし、出力を上げてください。

ゼロスタートランプ



〈背面〉



通気孔

壁に寄せて使用するなど、通気孔をふさがないでください。本体内部が熱をもち、故障や発火の原因となります。また、通気孔につくほこりを定期的に掃除機などで吸い取ってください。

電源コード（プラグ）

家庭用コンセント（100V）にプラグを差し込みます。使用しない時は、必ずコンセントから抜いてください。

コードは便利な背面フックに巻き付け収納。

※電源コードを本体背面のフックに巻き付ける際、コードを強く巻き付けると本体からのコード引き出し部やコード自体にストレスが加わり断線する恐れがあります。

myはるかぜDXの主な特長

特長 1

1台でできる 3種類の電子療法

- **超短波療法**……衣服や乾いたタオルの上から導子をあてることで、超短波が作用して身体の内側から温めます。
- **電位療法**……マットの上にいるだけで、電位が全身に作用して健康へと導きます。
- **低周波療法**……パッドを皮膚に貼ることで、電流が神経や筋肉に作用して治療します。

特長 2

使い方かんたん シンプルパネル

表示が見やすいシンプルパネル採用で、手軽に操作することができます。

特長 3

把手付きで持ち運びも便利

使用目的又は効果

使用目的：一般家庭で使用すること

超短波療法

■ 超短波による局所の温熱効果

- 疲労回復
- 血行をよくする
- 筋肉の疲れをとる
- 筋肉のこりをほぐす
- 神経痛・筋肉痛の痛みの^{かんかい}緩解
- 胃腸の動きを活発にする

電位療法

- 頭痛の^{かんかい}緩解
- 肩こりの^{かんかい}緩解
- 不眠症の^{かんかい}緩解
- 慢性便秘の^{かんかい}緩解

低周波療法

- 肩こりの^{かんかい}緩解
- 麻痺した筋肉の萎縮の予防
- マッサージ効果

- 疲労回復
- 血行をよくする
- 筋肉のこりをほぐす
- 神経痛・筋肉痛の痛みの^{かんかい}緩解

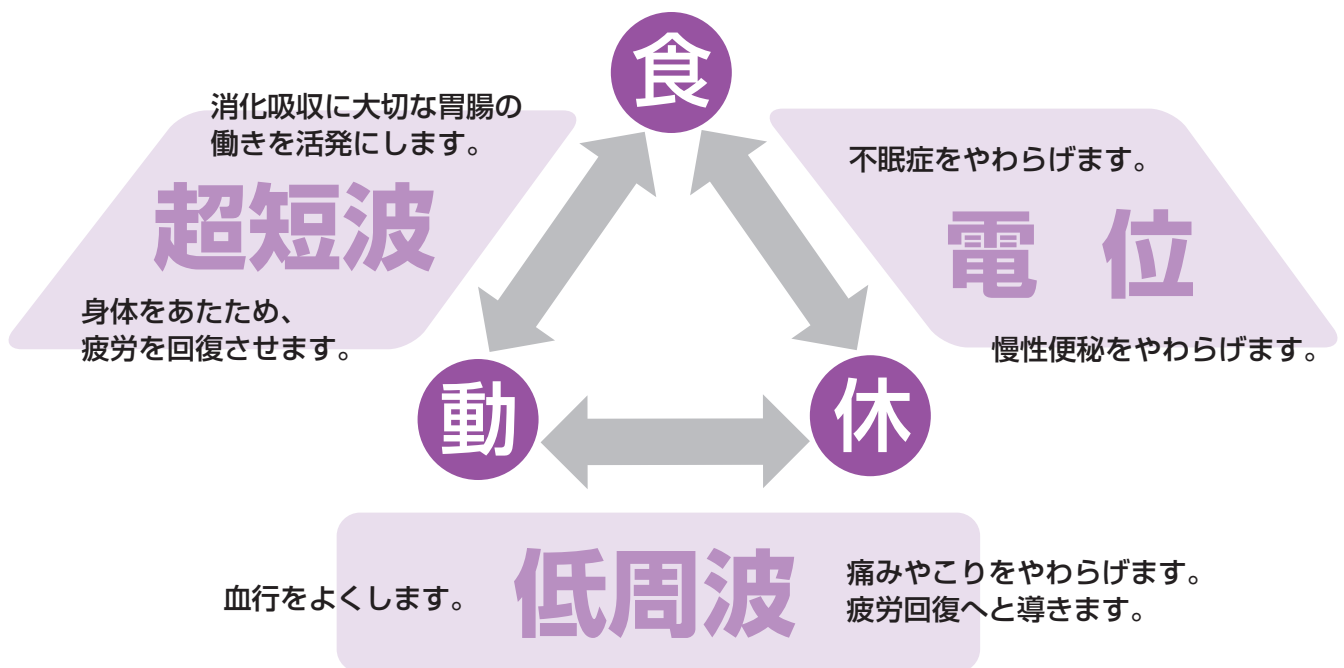
■目指そう！病気に負けない身体づくり……………

病気になると慌てて病院に通うけれど、治ると元の生活に逆戻りという経験はありませんか。

これでは、いつまで経っても健康的な生活を続けていくことはできません。

大切なのは、「日頃から自分で病気に負けない身体づくりをしていく」ことです。

バランスの取れた食事（栄養）・適切な運動（運動）・心と体の休息（休養）の「健康の3要素」を意識しながら電子療法を活用することで、病気に負けない身体づくりを心がけましょう。



■電子療法と健康の3要素……………

超短波療法

超短波をあてると、身体の内側からあたたまってくるのがわかります。この内側からの熱は、運動と同じように血行をよくし、胃腸のはたらきを高め、健康な状態へと誘ってくれるのです。

電位療法

絶縁物をへだてて、電圧エネルギーが全身を包み込み、人体にやさしく作用します。その結果、肩こり、頭痛、不眠症、慢性便秘をやわらげます。

低周波療法

低周波は、弱い電流の刺激で神経や筋肉にはたらきかけます。手足の神経を刺激し、痛みやマヒなどに効果があるとともに、筋肉をマッサージし、こりなどをやわらげ血行を促進する効果があります。

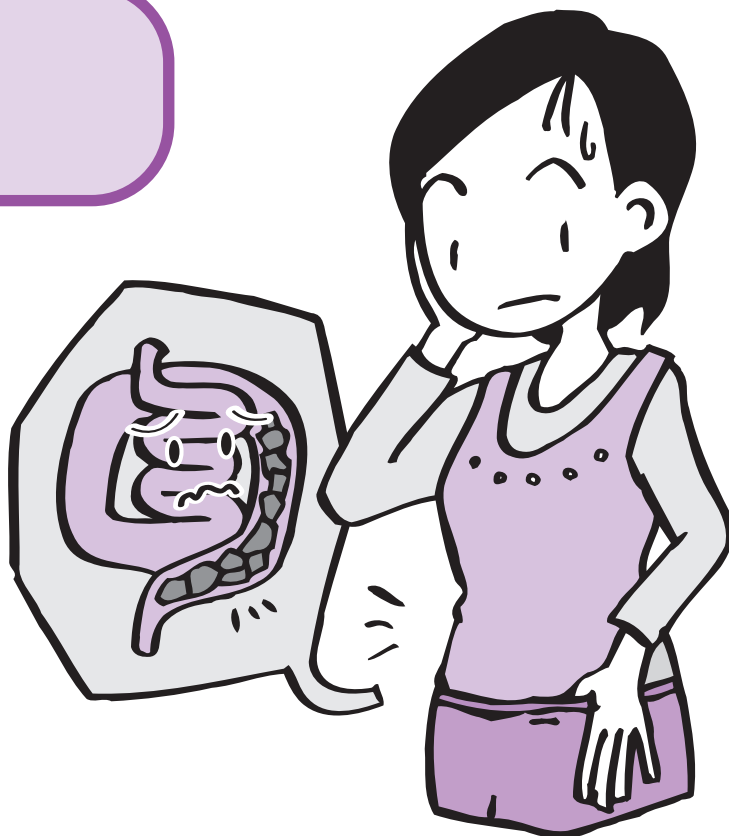
超短波

超短波療法の使用目的又は効果

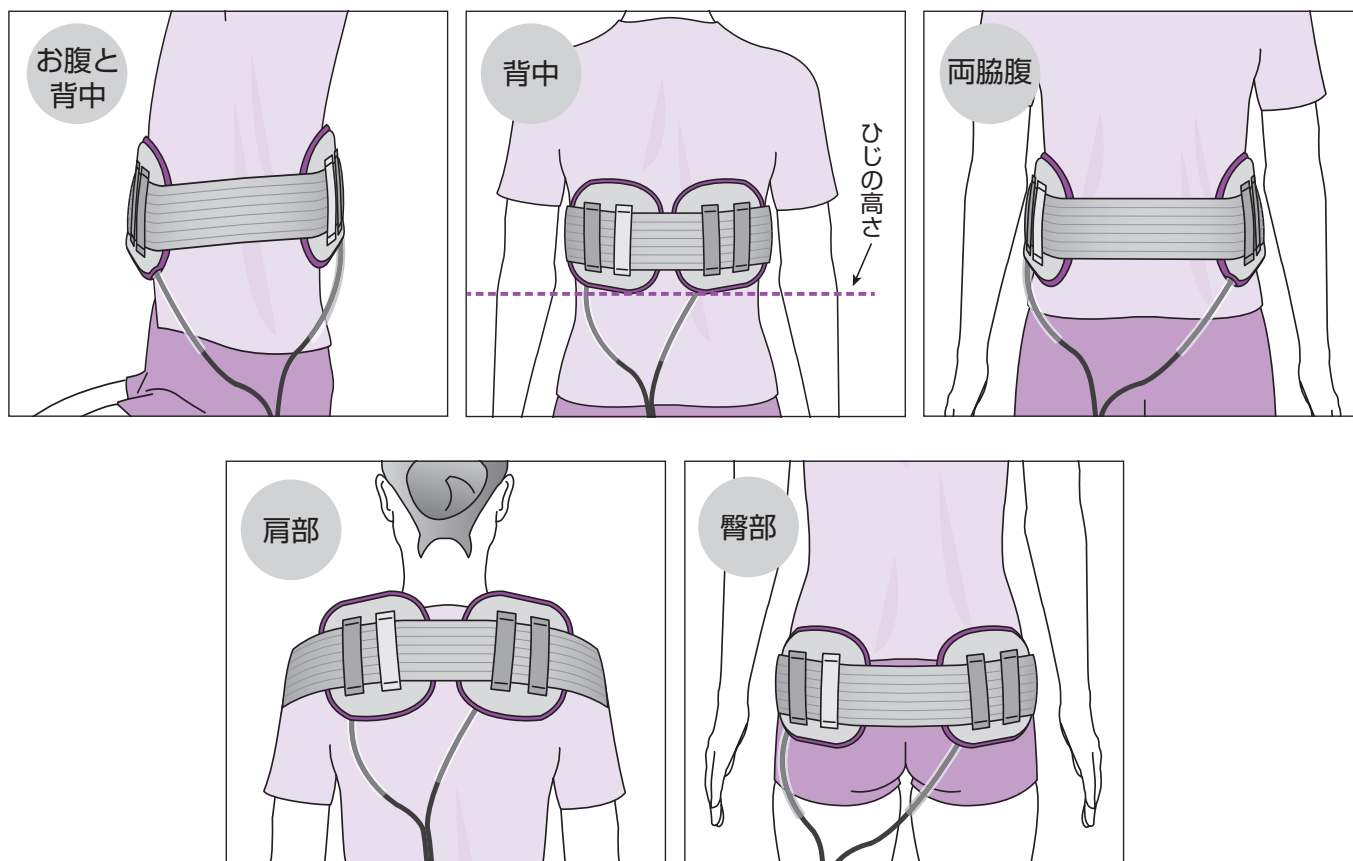
超短波による 局所の温熱効果

- 疲労回復
- 血行をよくする
- 筋肉の疲れをとる
- 筋肉のこりをほぐす
- 神経痛・筋肉痛の痛みの^{かんかい}緩解
- 胃腸の働きを活発にする

使用目的：一般家庭で使用すること

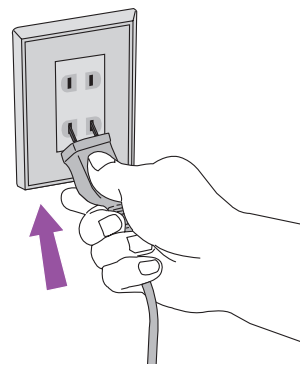


治療部位 一例



※導子は素肌の上から直接あてないでください。必ず乾いたタオルや服の上からあててください。

治療前の準備

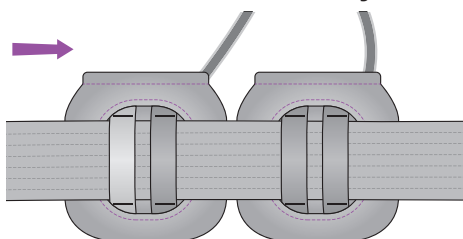


1 電源プラグを差し込む

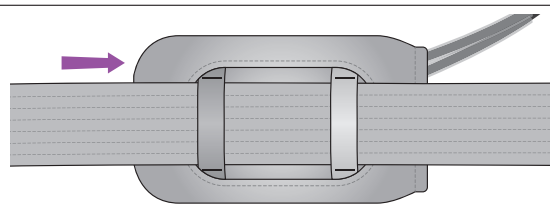
- 電源スイッチが「切」になっていることを確認します。
- 電源コードのプラグを100Vコンセントに差し込みます。

2 導子をセットする

- 超短波導子MY-W 〈myはるかぜDX〉 についているベルト通しに装着ベルトを通します。



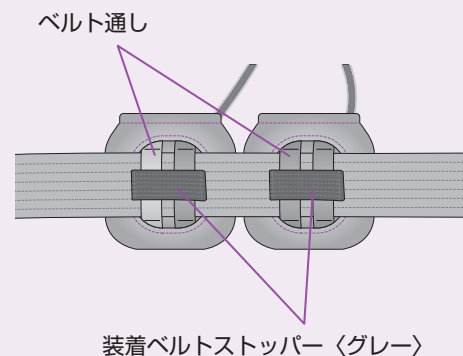
別売：
超短波導子 MY 〈my
はるかぜ DX〉 の場合



? 導子が患部にあてづらい場合

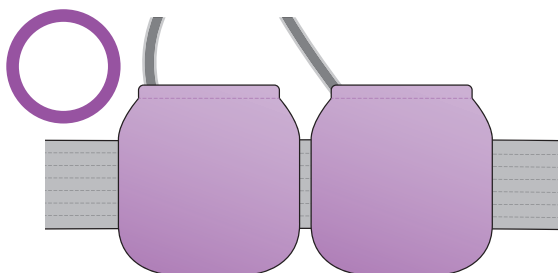
導子が患部にあてにくい場合は、装着ベルトストッパー〈グレー〉を使うと導子が固定され、ずれずに便利です。

- ①導子にベルトをセットします。
- ②ベルト通しの上から装着ベルトストッパー〈グレー〉を貼り付け、ベルトが動かないように固定して患部へ導子をあてます。

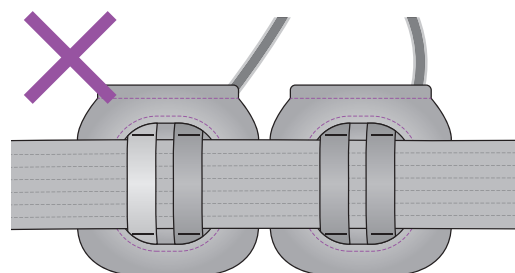


3 治療部位にあてる

- 導子はベルト通しのついていない面を身体にあてます。



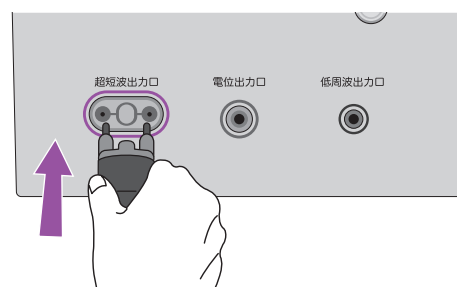
身体にあてる面



身体に対して外側の面

4 本体と導子プラグをつなぐ

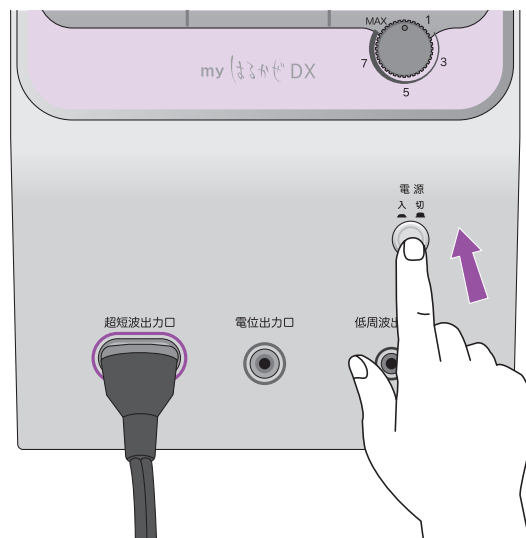
- 超短波導子の導子プラグを本体の「超短波出力口」にしっかりと差し込みます。



本体の操作方法

1 電源を入れる

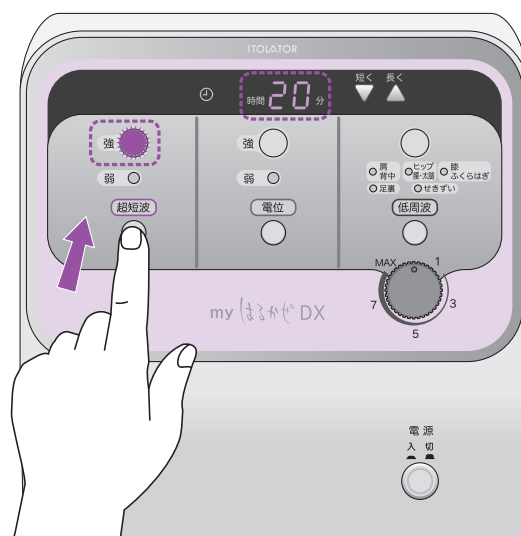
- 電源スイッチを押して、電源を入れます。
タイマー表示は「0」が表示されます。



2 治療を開始する

- 超短波出力選択ボタンを押すとタイマー表示に時間が表示され、治療が開始されます。

※工場出荷時の出力は「強」に設定されています。



? 出力の強さを変更するには

超短波出力ボタンを押すことで 強 \longleftrightarrow 弱 の設定ができます。

※治療中は選択されている強さの超短波出力ランプが点灯します。

(例)
出力「強」を選択中



3 治療時間を設定する

- タイマー変更ボタンで治療時間を変更することができます。

※工場出荷時の時間は「20分」に設定されています。

長く を押すとタイマー表示が次のように変わります。

▲ 「20分」 → 「25分」 → 「30分」
(自動設定)

短く を押すとタイマー表示が次のように変わります。

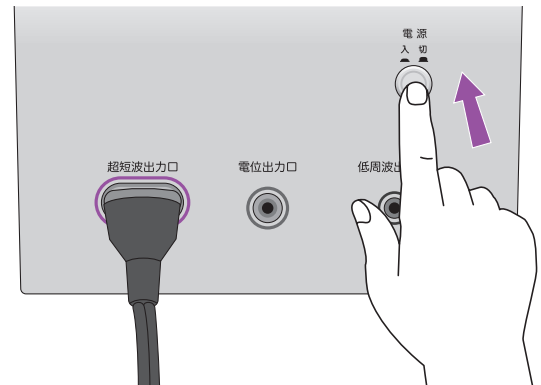
▼ 「20分」 → 「15分」 → 「10分」 → 「5分」 → 「0分」
(自動設定)

4 治療の終了と延長

- タイマー表示が「0」になるとブザー音とともに超短波出力ランプが消灯して、出力が自動的に切れます。

※治療終了のブザー音のON/OFFについてはP.37
を参照してください。

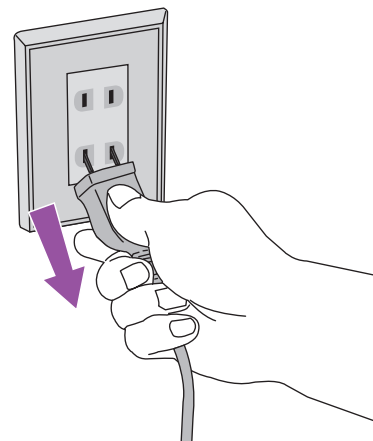
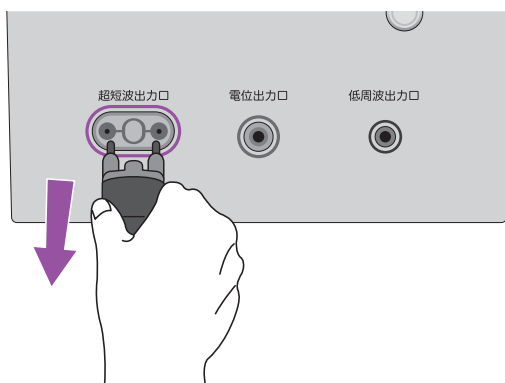
- 治療を引き続き行う場合は、本体の操作方法 **2** に戻り、手順に従ってください。
- 治療を終了する場合は電源スイッチを押して電源を切ります。



5 整理と保管

- 電源が切れていることを確認してから使用した導子を出力口から抜き、電源コードプラグをコンセントから抜きます。
- 次の使用に支障がないように、本体及び付属品を清浄にし、整理保管してください。

※付属品袋をご使用ください。



電 位

電位療法の使用目的又は効果

- 頭痛の緩解^{かんかい}
- 肩こりの緩解^{かんかい}
- 不眠症の緩解^{かんかい}
- 慢性便秘の緩解^{かんかい}

使用目的：一般家庭で使用すること

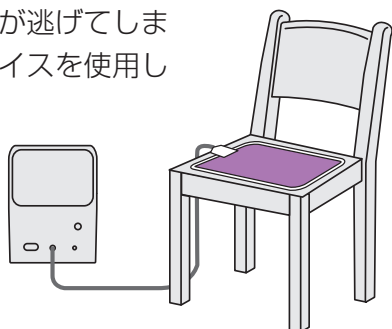


電床マット設置場所 一例

下記の例を参考に敷いてください。電床マットは、薄緑色の面を上にして敷きます。

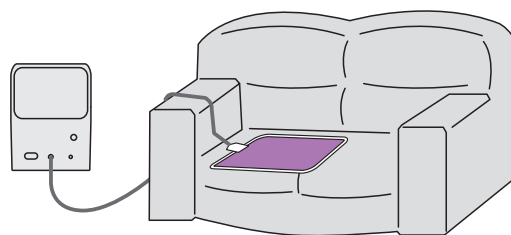
イスの場合

金属製のイスを使用すると、電気エネルギーが逃げてしまいます。木製のイスを使用してください。



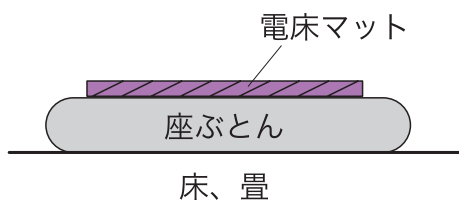
ソファーの場合

表面が布、皮革やビニール製品以外の上では使用しないでください。



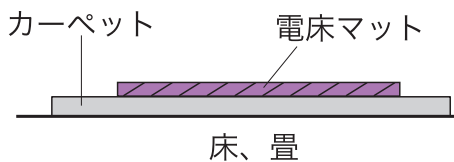
床・畳の場合

座布団の上に敷いてください。



カーペットの場合

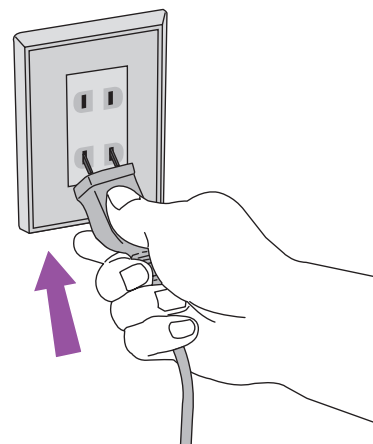
電気カーペットの上では絶対使用しないでください。毛足の長いカーペットも避けてください。



治療前の準備

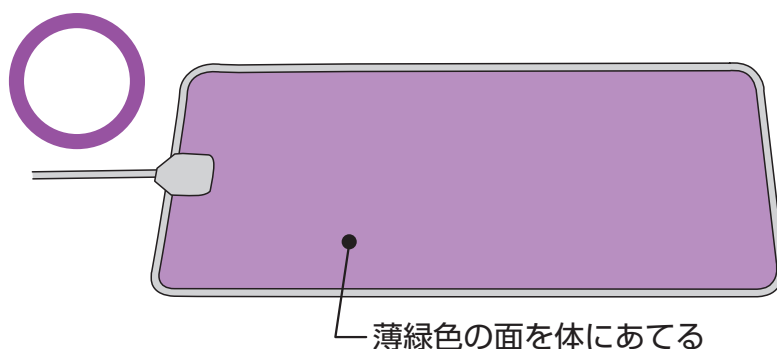
1 電源プラグを差し込む

- 電源スイッチが「切」になっていることを確認します。
- 電源コードのプラグを100Vコンセントに差し込みます。



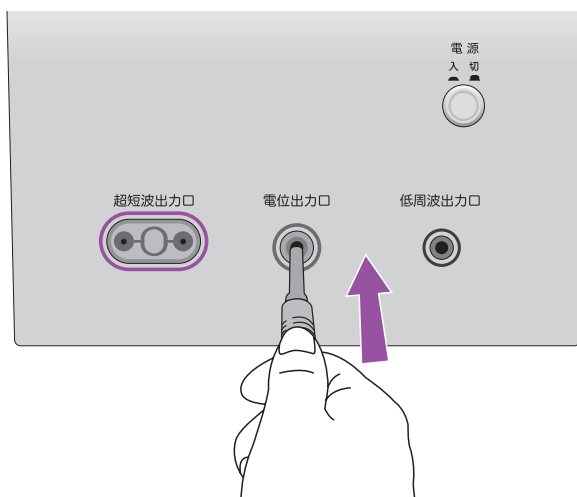
2 電床^{でんしょう}マットを設置する

- 左記の例を参考に治療する場所^{でんしょう}に電床^{でんしょう}マットを敷きます。
- 電床^{でんしょう}マットは薄緑色の面を上にして敷いてください。



3 本体と電床^{でんしょう}マットのプラグをつなぐ

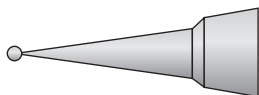
- 電床^{でんしょう}マットとのプラグを本体の「電位出力口」にしっかりと差し込みます。



1 使用する電極を選ぶ

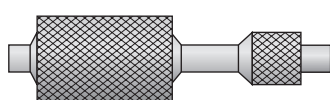
- 電位局所導子VS 〈myはるかぜDX〉は3つの電極から選んで治療が行えます。

ペン型電極



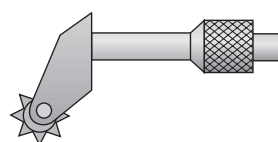
患部の局所治療時
におすすめ

ローラー型電極



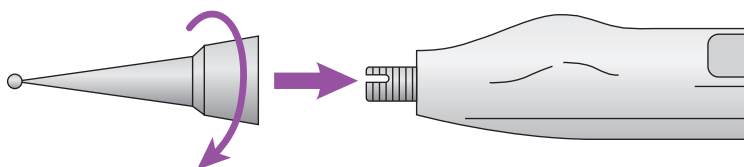
首・肩・腕・足などの痛み・こりの広範囲治療におすすめ

歯車型電極



2 電極を準備する

- 治療部位に応じて先端部電極を選び、電極取付部にしっかりと取り付けます。



(例) ペン型電極を選択

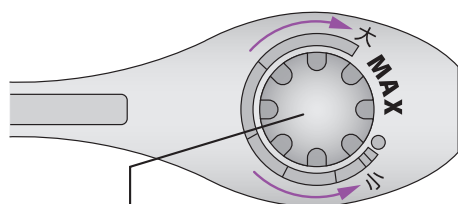
3 本体と導子プラグをつなぐ

- 導子プラグを本体の「電位出力口」にしっかりと差し込みます。

出力について

- 個人差はありますが、適度な刺激感が得られる出力で行ってください。

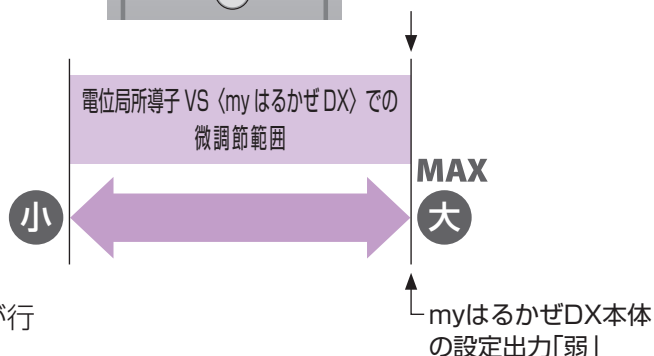
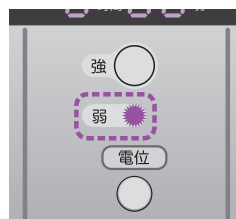
電位局所導子VS 〈myはるかぜDX〉は、出力調節つまみがついています。myはるかぜDX本体で設定した出力を最大として、その範囲内で微調節することができます。



出力調節ダイヤル

※出力の調節は、必ず治療を行っている本人が行い、他の人が行わないようにしてください。

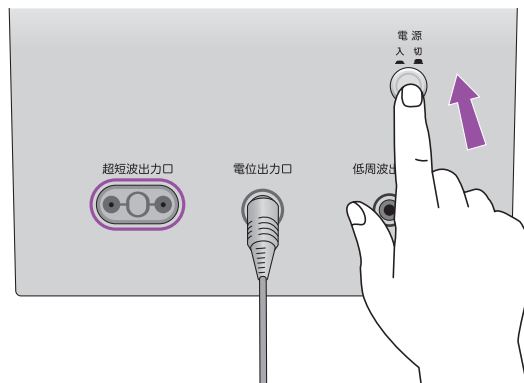
(例) myはるかぜDXの出力調節「弱」の場合



本体の操作方法

1 電源を入れる

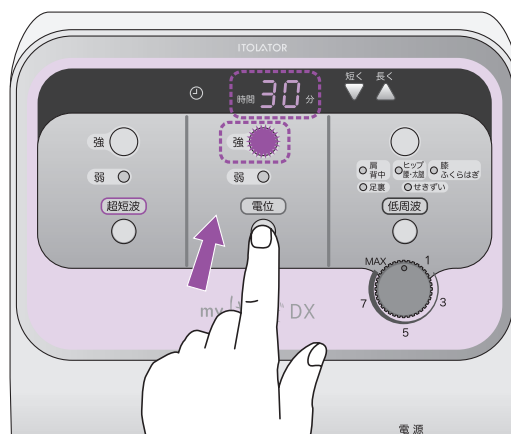
- 電源スイッチを押して、電源を入れます。
タイマー表示は「0」が表示されます。



2 治療を開始する

- 電位出力選択ボタンを押すとタイマー表示に時間が表示され、治療が開始されます。

※工場出荷時の出力は「強」に設定されています。



? 出力の強さを変更するには

電位出力選択ボタンを押すことで 強 \leftrightarrow 弱 の設定ができます。

※治療中は選択されている強さの電位出力ランプが点灯します。

(例)
出力「強」を選択中



3 治療時間を設定する

- タイマー変更ボタンで治療時間を変更することができます。

※工場出荷時の時間は「30分」に設定されています。

長く を押すとタイマー表示が次のように変わります。



「30分」→「1時間」→「2時間」→「4時間」→「8時間」
(自動設定)

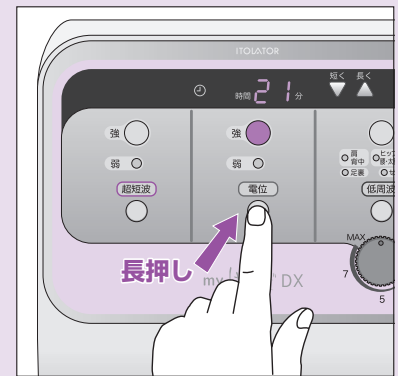
短く を押すとタイマー表示が次のように変わります。



「30分」→「25分」→「20分」→「15分」→「10分」→「5分」→「0分」
(自動設定)

！ タイマー表示と電位出力ランプの明るさを調整するには

電位出力中に電位出力選択ボタンを長押し(約1秒)すると、タイマー表示と電位出力ランプの照度を下げることができます。もう一度、電位出力選択ボタンを長押し(約1秒)すると、元の照度に戻ります。



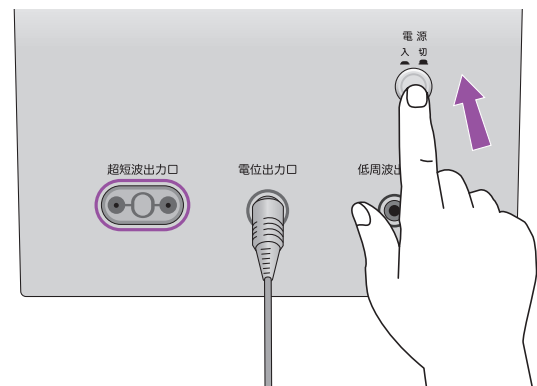
4 治療の終了と延長

- タイマー表示が「0」になるとブザー音とともに電位出力ランプが消灯して、出力が自動的に切れます。

※治療終了のブザー音のON/OFFについてはP.37を参照してください。

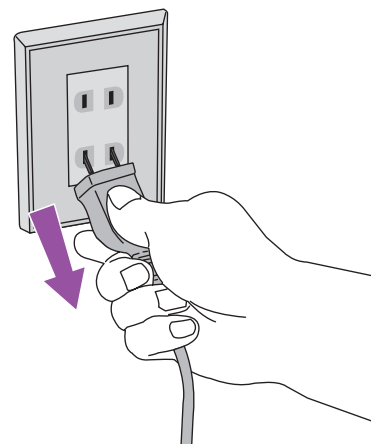
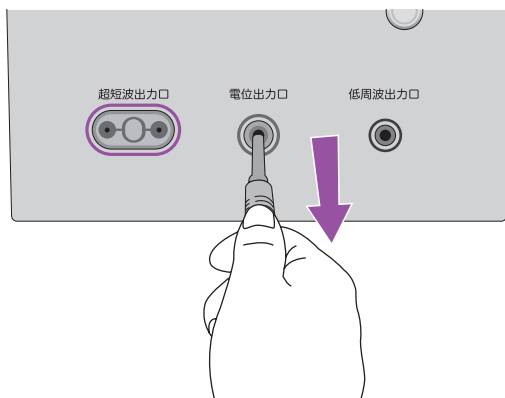
- 治療を引き続き行う場合は、本体の操作方法 **2** に戻り、手順に従ってください。

- 治療を終了する場合は電源スイッチを押して電源を切ります。



5 整理と保管

- 電源が切れていることを確認してから使用した導子を出力口から抜き、電源コードプラグをコンセントから抜きます。
- 次の使用に支障がないように、本体及び付属品を清浄にし、整理保管してください。



低周波

低周波療法の使用目的又は効果

- 肩こりの^{かんかい}緩解
- 麻痺した筋肉の萎縮の予防
- マッサージ効果

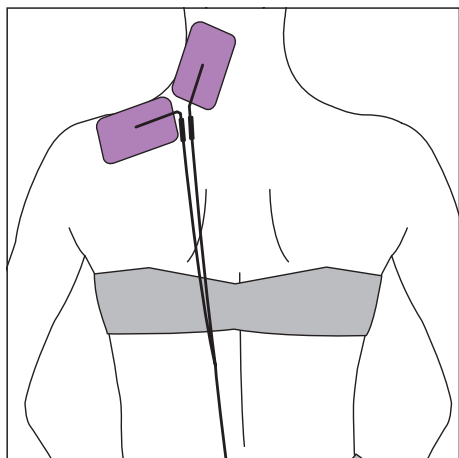
- 疲労回復
- 血行をよくする
- 筋肉のこりをほぐす
- 神経痛・筋肉痛の^{かんかい}痛みの緩解

使用目的：一般家庭で使用すること

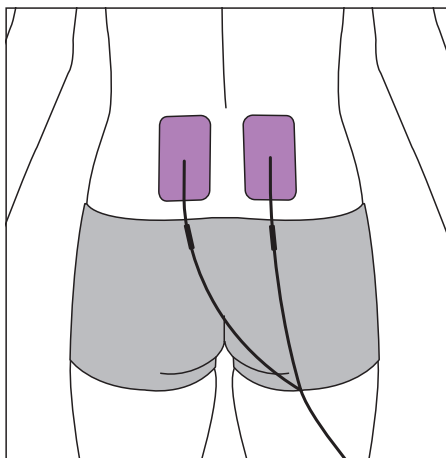


治療部位 一例

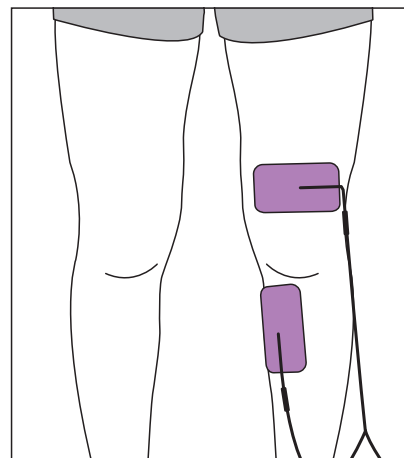
粘着パッドは肌に密着させてください。汗などで肌が汚れていると粘着パッドが貼り付きにくくなるので、タオルなどでしっかりと汗を拭き取ってください。



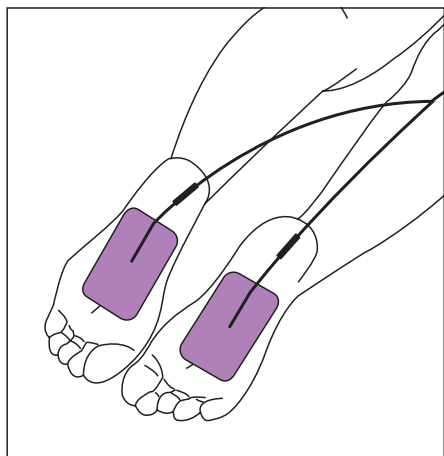
肩の治療例



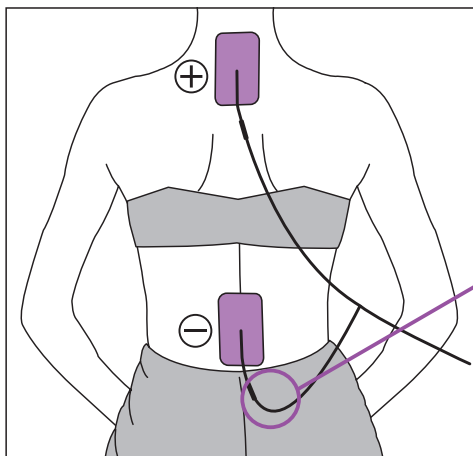
腰の治療例



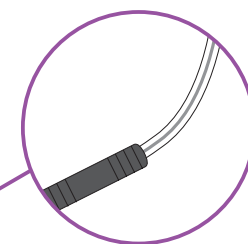
膝の治療例



足裏の治療例



せきずいの治療例

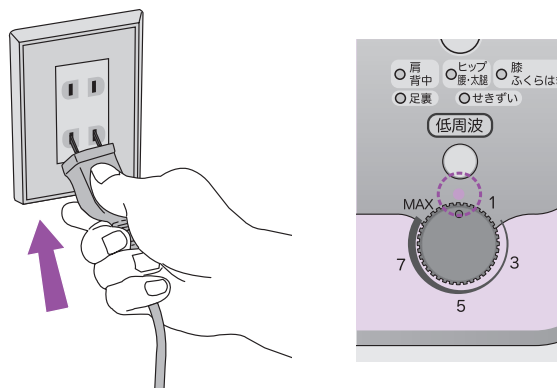


接続コード部分にグレーのラインが入っており、先端部分が黒い方が⊖になります。

治療前の準備

1 電源プラグを差し込む

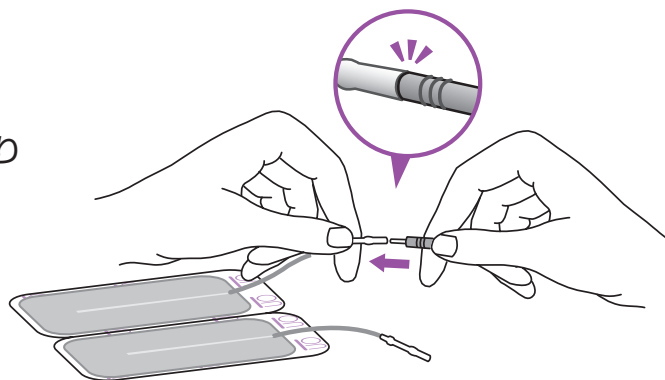
- 電源スイッチが「切」になっていることを確認します。
- 電源コードのプラグを100Vコンセントに差し込みます。
- 低周波出力調節つまみが「●」の位置になっていることを確認します。



2 粘着パッドと接続コードをつなぐ

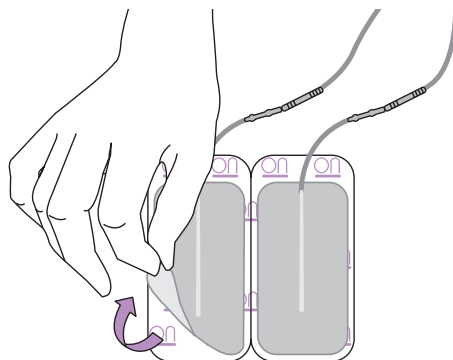
- 粘着パッドに接続コードの細い先端をしっかりと差し込みます。

※金属部分が見えなくなるまでしっかりと差し込んで下さい。



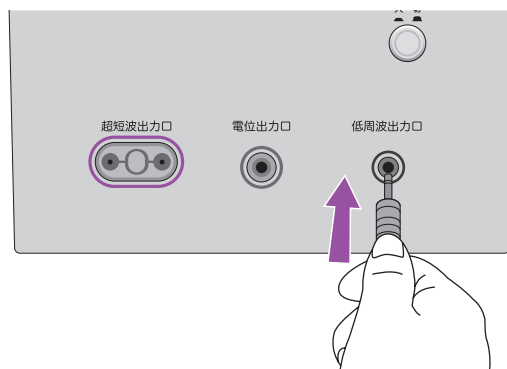
3 粘着パッドをセットする

- 粘着パッドをフィルムからはがします。
※はがすときは、粘着パッドの端をつまんでゆっくり持ち上げて下さい。
※接続コード部分を持ってはがさないで下さい。
- 粘着パッドを治療部位に貼ります。



4 本体と導子プラグをつなぐ

- 低周波の導子プラグを本体の「低周波出力口」にしっかりと差し込みます。



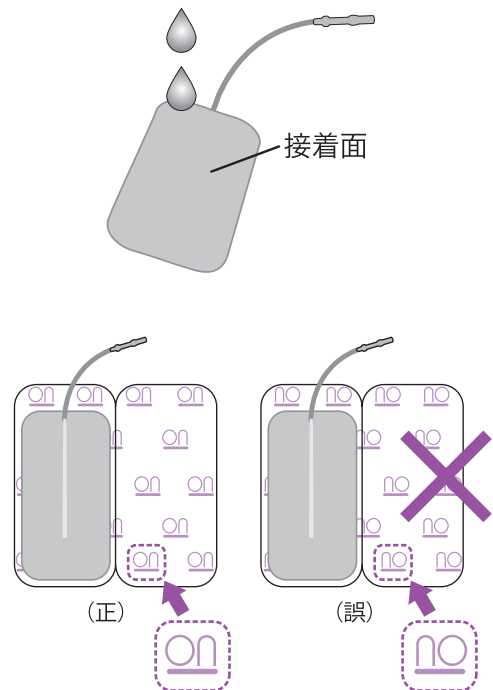
！初めて粘着パッドをお使いになる方へ

※お使いになる前に、肌に粘着パッドが合うかテストをしましょう。

- ①おなか・腕・太ももの内側など皮膚のやわらかい部分へ、粘着パッドを貼ってください。
(粘着パッドに接続コードを接続しない)
- ②20分後、粘着パッドを貼っていた部分が赤くなったり、かゆみを引き起こした場合は、使用を中止してお買い求めの販売店または製造販売元までお問い合わせください。
- ③異常がないことをご確認の上、ご使用ください。

粘着パッドの保管について

- 粘着パッドは、乾燥してくると粘着力が低下します。粘着力が低下してきた場合、汚れや脂をとりのぞき、時々1～2滴の水をつけておくと長くお使いいただけます。
- 粘着パッドを保管する際には、透明フィルムの「ON」と読める面に貼ってください。「NO」と読める面に貼ると剥がれにくく、粘着パッドの寿命を縮めます。
- 粘着パッドの使用後は、元の透明フィルムに戻し、袋に入れ、室温で保存してください。
- 粘着パッドの袋に使用期限が表示してあります。期限切れの粘着パッドは使用しないでください。
- 粘着パッドは消耗品です。粘着力が低下しましたら交換してください。



粘着パッドの模倣品に対するご注意

安全に製品をご使用いただくために、当社で品質管理を実施しております純正の粘着パッドをご使用くださいますようお願い申し上げます。当社では模倣品が原因で発生した火傷事故・故障・その他の不具合などにつきましては、一切の責任を負いかねますのでご了承ください。本件については〈お客様相談室〉までお問い合わせください。

〈お客様相談室〉

TEL : 048(254) 1019 受付：平日午前10時～午後5時30分（土・日・祝日休み）

※担当者の不在などで、当日のご対応ができない場合もございます。ご迷惑をおかけいたしますが、何卒ご理解のほどお願い申し上げます。



警告 粘着パッドについて

- 傷のある皮膚には使用しないでください。
- 湿布や絆創膏などの粘着物によりかぶれやすい方は注意してご使用ください。かぶれたり、赤くなったりすることがあります。
- 皮膚が荒れたり、火傷・炎症などを起こした際は直ちに使用を中止してください。
- 粘着パッドを透明フィルムや皮膚から剥がすときは、パッドの端を摘んでゆっくり持ち上げてください。コード部を持って剥がすようなことはしないでください。
- 皮膚にローション、オイルなど化粧品が残っている場合、粘着パッドが付きませんので皮膚を石鹸でよく洗い完全に乾かしてから貼り付けてください。
- 粘着パッドを貼り付ける際には、必ず皮膚に密着させてください。貼った部分に隙間があると刺激が強くなり痛みを感じ、場合によっては火傷などの皮膚障害を起こすおそれがあります。
- 粘着パッドを使用した際に、発疹・発赤・かゆみなどが現れたときは直ちに使用を中止し、販売元にご相談ください。
- 粘着パッドを使用する時、金属物（ネックレス、ベルト、時計など）と重なったり、触れたりしないよう注意して貼ってください。また、粘着パッドは互いに重ならないように貼ってください。
- 運動・温熱（ホットパックなど）により発汗し皮膚表面が濡れている場合は、汗を乾いたタオルなどで拭き取ってから粘着パッドを装着してください。粘着パッドの上からホットパックなどで加温することは局所に熱が集中し火傷・炎症の可能性がありますので絶対におやめください。
- 使用中の粘着パッドを体の下に敷くなど、過度な力をかけますと、電流が一部分に集中し火傷・炎症の原因となりますので、絶対におやめください。
- 粘着パッドを皮膚から剥がすときは、必ず本体の電源スイッチを切ってください。
- 粘着パッドの使用後は元の透明フィルムに戻し袋に入れ、室温で保存してください。
- 粘着パッドの袋に使用期限が表示してあります。期限切れの粘着パッドは使用しないでください。
- 粘着パッドは消耗品です。粘着力が低下しましたら交換してください。
- 粘着力が弱くなった粘着パッドは、皮膚との接触状態により局所に電流が集中する可能性があります。火傷・炎症の原因となるので、絶対に使用しないでください。
- 使用期限の切れたものや、粘着力が低下した粘着パッドをそのまま使用したり、テープ・バンド・下着などで固定して使用しても、適切な効果が得られないばかりでなく、急激に強い刺激がかかったり、場合によっては火傷などの皮膚障害を起こすおそれがありますので、絶対にしないでください。
- 接続コードの接続ピン部分が汚れていないか必ず使用前に確認してください。汚れている場合は、ぬるま湯、アルコールで湿らせた柔らかい布で汚れを拭き取ってください。汚れたままで使用しますと、接触不良による電流の急激な変化で、火傷・炎症のおそれがあります。また、接続部が緩くなった粘着パッドも接触不良を起こす可能性がありますので、新しいものに交換してください。

1 使用する電極を選ぶ

- ローラー&スポット導子〈SR-A〉は、3つの電極から選んで治療が行えます。

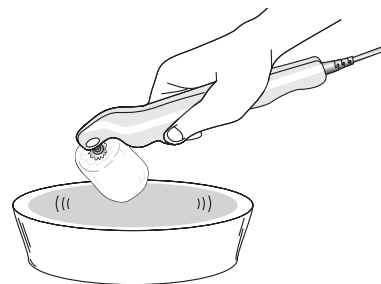
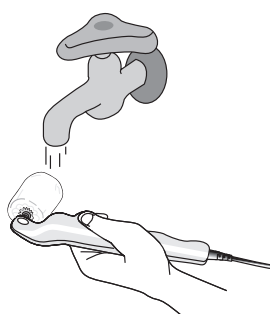
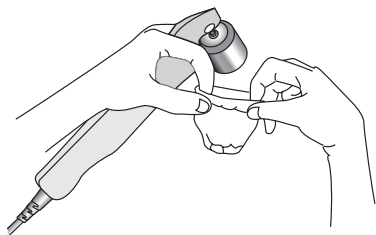
治療部位、目的によって選んでください。

ローラー型……………広範囲の痛み・こりの治療におすすめ

ピン型・丸型……………患部の局所治療時におすすめ

2 電極を準備する

- ローラー電極の場合：導子一体となっています。ローラーパッドを取り付け、パッドを水またはぬるま湯で水が垂れない程度に十分に濡らします。

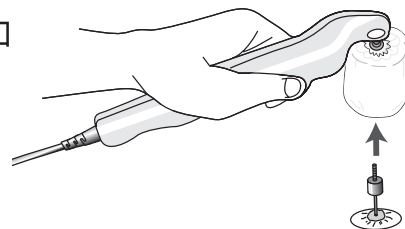


※ローラーパッドにほつれや破れがある場合は交換をしてください。

- ピン型・丸型電極の場合：

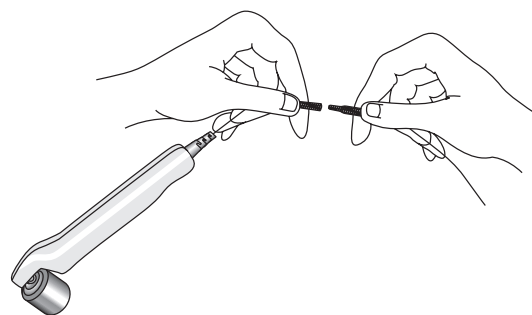
専用のパッドを取り付け、導子（ローラー部）の電極差込口に取り付けます。

※ピン型、丸型電極を使用する場合もローラー部にパッドをつけて使用してください。ただし、ローラーパッドを濡らす必要はありません。



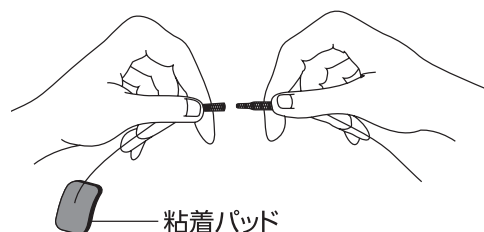
3 導子と接続コードをつなぐ

- ローラー&スポット導子〈SR-A〉に接続コードの細い先端をしっかりと差し込みます。



4 粘着パッドともう片方の接続コードをつなぐ

- 粘着パッドともう片方の接続コードの細い先端をしっかりと差し込みます。



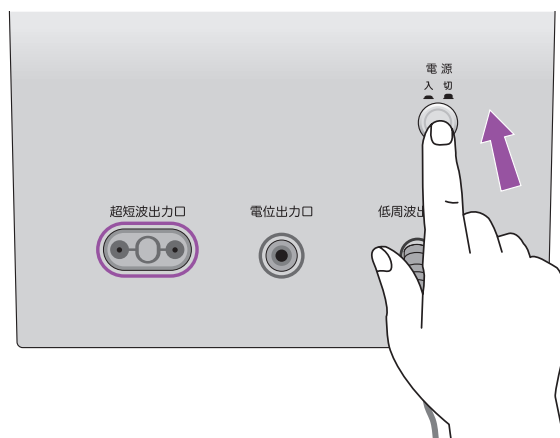
5 本体と導子プラグをつなぐ

- 低周波の導子プラグを本体の「低周波出力口」に差し込みます。

本体の操作方法

1 電源を入れる

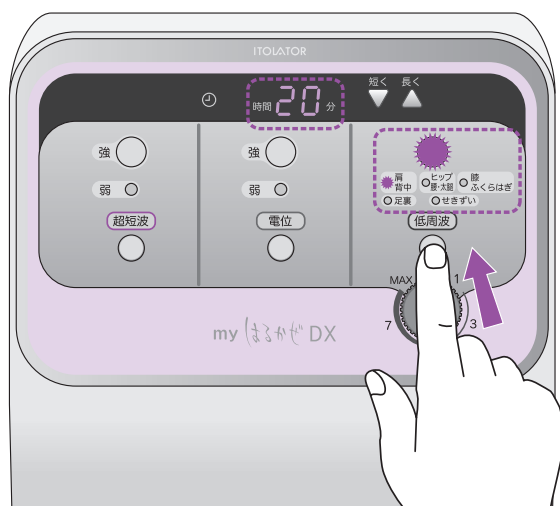
- 電源スイッチを押して、電源を入れます。
タイマー表示は「0」が表示されます。



2 治療を開始する

- 低周波プログラム選択ボタンを押すとタイマー表示に時間が表示され、治療が開始されます。

※工場出荷時は「肩・背中」に設定されています。



? プログラムの部位を変更するには

低周波プログラム選択ボタンを押すことでプログラムの部位の変更ができます。



治療中は低周波出力ランプとともに選択されているプログラムランプが点灯します。

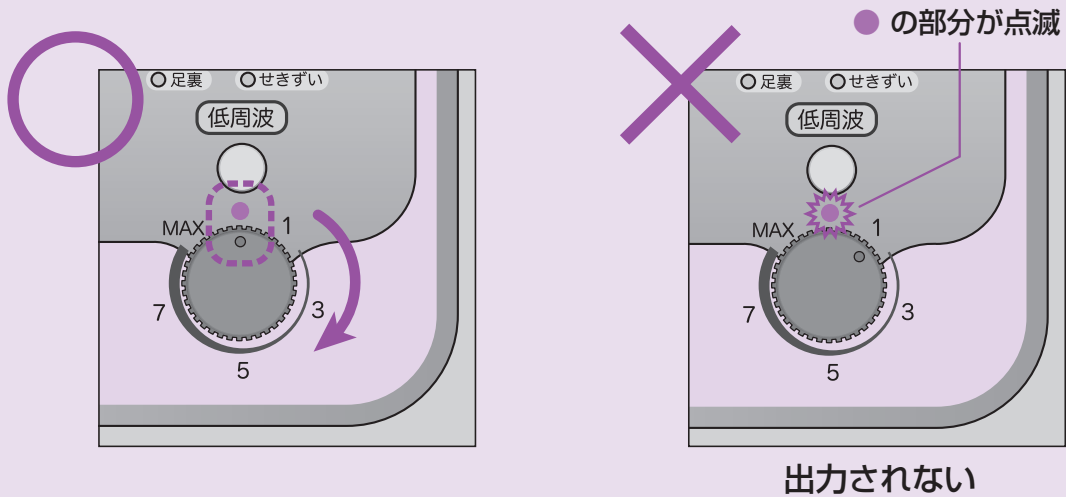
3 出力の強さを調節する

- 低周波出力調節つまみを「●」の位置から時計回りにゆっくりと回し、心地よい強さに設定します。

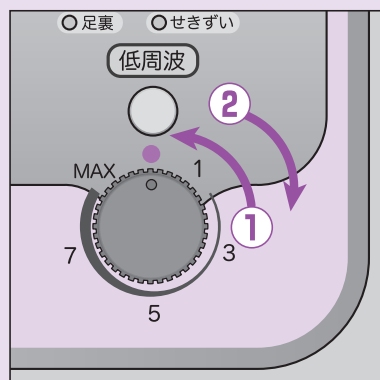
? 出力が開始されないときは

低周波出力調整つまみが「●」の位置にあるか確認してください。
本体の操作方法 2 の時までに「●」の位置にない場合は、「●」ランプが点滅するとともにブザー音が鳴り、低周波が出力されません。

※タイマー表示は進行します。



低周波出力調節つまみを「●」の位置に戻し、点滅から消灯になったことを確認後、つまみをゆっくりと時計回りにまわし、心地よい強さに設定してください



4 治療時間を設定する

- タイマー変更ボタンで治療時間を変更することができます。

※工場出荷時の時間は「20分」に設定されています。

長く を押しとタイマー表示が次のように変わります。



「20分」→「25分」→「30分」→「35分」→「40分」→「45分」→「50分」→「55分」→「1時間」
(自動設定)

短く を押しとタイマー表示が次のように変わります。



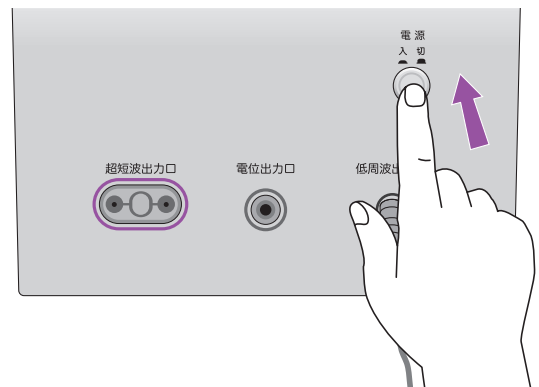
「20分」→「15分」→「10分」→「5分」→「0分」
(自動設定)

5 治療の終了と延長

- タイマー表示が「0」になるとブザー音とともに低周波出力ランプが消灯して、出力が自動的に切れます。

※治療終了のブザー音のON/OFFについては
P.37を参照してください。

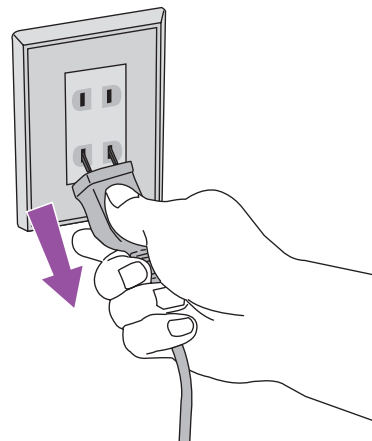
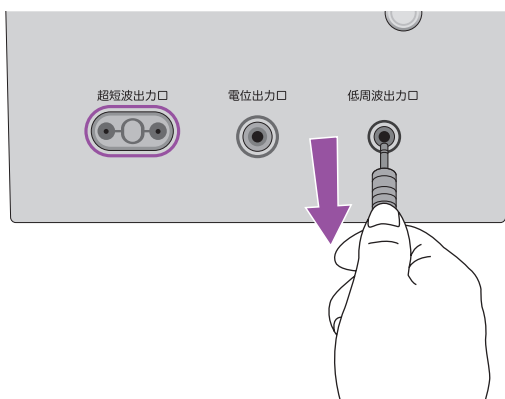
- 治療を引き続き行う場合は、本体の操作方法 **2** に戻り、手順に従ってください。
- 治療を終了する場合は電源スイッチを押して電源を切ります。



6 整理と保管

- 電源が切れていることを確認してから使用した導子を出力口から抜き、電源コードプラグをコンセントから抜きます。
- 次の使用に支障がないように、本体及び付属品を清浄にし、整理保管してください。

※付属品袋をご使用ください。



治療終了時のブザー音設定

myはるかぜDXでは治療終了時のブザー音のON/OFF設定をすることができます。

※工場出荷時は、「電位治療終了時：ブザー音OFF 超短波治療/低周波治療終了時：ブザー音 ON」で設定されています



1 電源の確認

●本体の電源が切れていることを確認します。

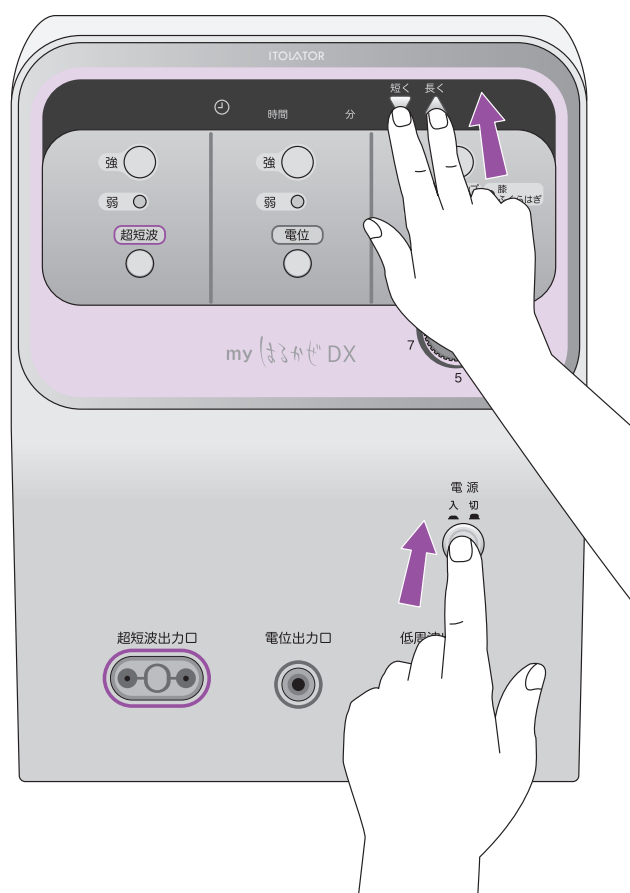
※治療中はブザー音の設定はできません。

※電源コードプラグはコンセントに差し込まれている必要があります。

2 タイマー変更ボタンと電源スイッチを押す

●タイマー変更ボタン   を押しながら、電源スイッチを押します。

●電源が入ると、ブザー音の設定は完了です。



ブザー音設定は、**1 2** の操作を繰り返すことで以下の順に変更が可能です。

- 「電位：ブザー音OFF/超短波・低周波：ブザー音ON」（工場出荷時）
- ↓
- 「超短波・電位・低周波：ブザー音ON」（すべての治療でブザー音あり）
- ↓
- 「超短波・電位・低周波：ブザー音OFF」（すべての治療でブザー音なし）

故障かな？と思ったら

●修理・サービスを依頼される前に、次の表に従ってお確かめください。

症 状		調べるところ・原因・対策
	電源が入らない。	電源プラグが 100V コンセントに差し込まれていますか？
低周波	低周波出力調節ツマミをまわしても出力されない。	●ランプが点滅していませんか？ ●スタートしないと出力されません。
	チクチクと不快な刺激がある。	粘着パッドが肌にしっかりと貼られていますか？ 粘着パッドが古くなり、粘着力が低下していませんか？

●電源プラグやコネクター、コード類は、定期的に点検・交換してください。



注意

3年以上使用した付属品による事故については、当社は責任を負いかねる場合がありますので、あらかじめご理解をお願いいたします。

症 状	原因・対策
コードのカバーが傷んでいる。	電源プラグやコネクター、コード類が傷んでいます。そのままの状態を使い続けると、感電や火災の原因になります。 直ちに電源プラグを抜いて、販売店に修理を依頼してください。
使用中、電源プラグやコネクター、コードの一部が熱い。	
使用中にコード類を曲げたり伸ばしたりすると、通電が停止する。	

定期点検を受けましょう！

本体や付属品は安全に使用し、性能を維持するために定期的(1年を目安)に点検を受けましょう。特に付属品は消耗品ですので、定期的に点検し、3年以内で早めに交換してください。

※使用状態により異なりますので、販売店または製造販売元へお問い合わせください。

お客様 相談室

ご不明な点がございましたら
お気軽にお電話ください。

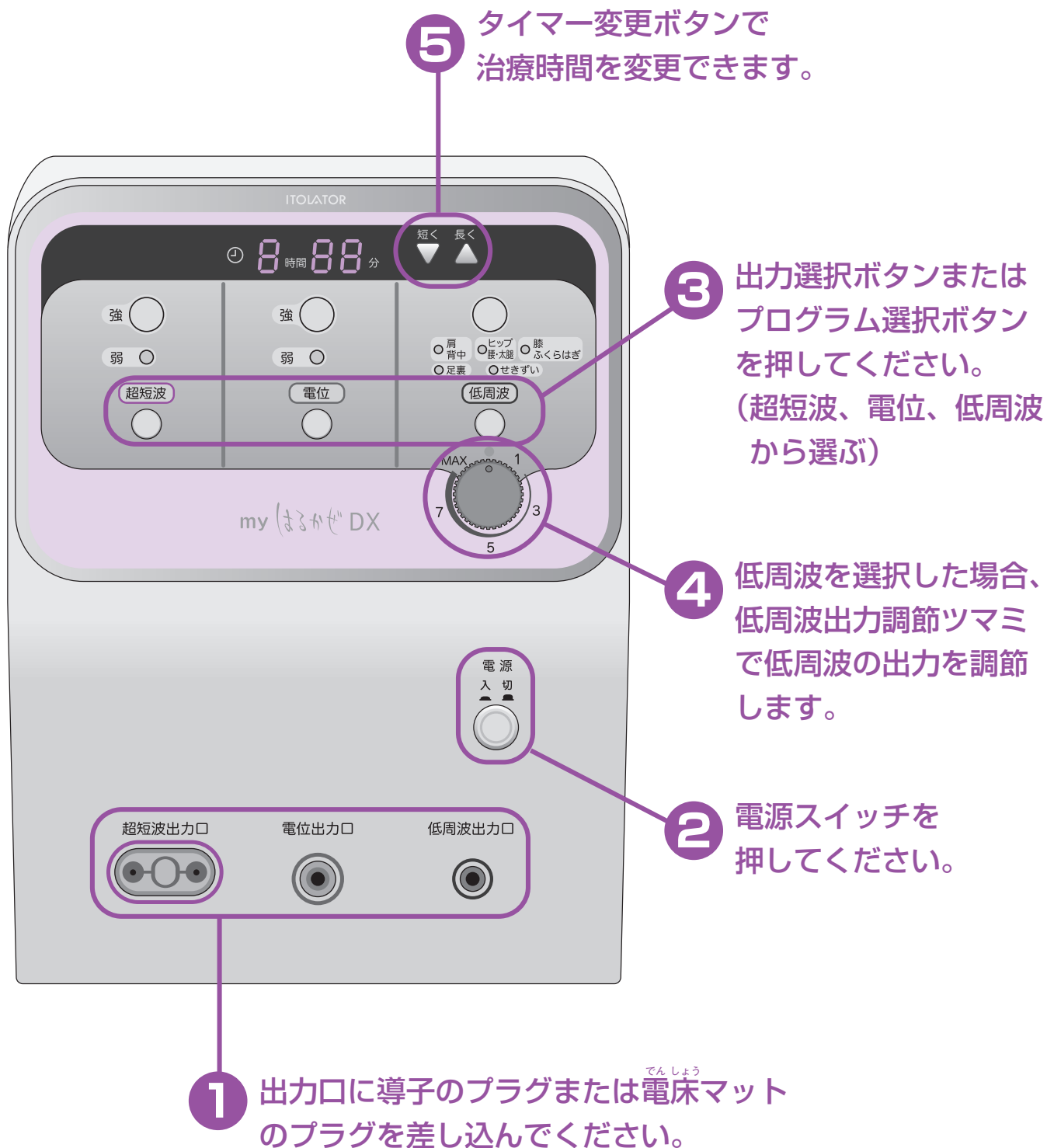
TEL. 048(254)1019

受付：平日(月～金曜日)

午前10時～午後5時30分(土・日・祝日休み)

※担当者の不在などで、当日のご対応ができない場合もございます。ご迷惑をおかけいたしますが、何卒ご理解のほどお願い申し上げます。

操作早わかり



本取扱説明書の注意事項をよくお読みになり、正しくお使いください。

お客様安心サービス

保証書の発行について

本製品に「保証書」が添付されていたお客様

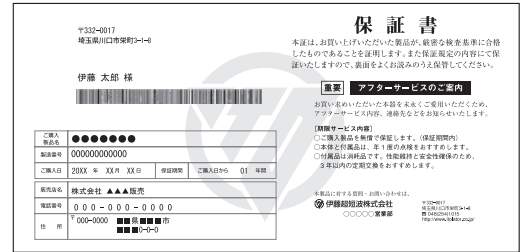
修理などアフターサービスを受ける際に必要となりますので大切に保管してください。保証期間中の修理などアフターサービスについてご不明な場合は、お買い求めの販売店または伊藤超短波株式会社にお問い合わせください。

本製品に「保証書」が添付されていなかったお客様

「ユーザー登録カード」が添付されています。

ご住所・生年月日・お買い求めの販売店などをご記入の上、郵便ポストに投函してください。本社に到着次第、本製品の「保証書」をお送りいたします。

※「ユーザー登録カード」が届きませんと「保証書」が発行されません。必ずお送りくださいますようお願いいたします。



ユーザー登録カード（文字色が茶色）

アフターサービス

機器の操作方法や治療法、その他のお問い合わせは

お客様相談室

TEL.048(254)1019 FAX.048(254)1049

受付：平日午前10時～午後5時30分（土・日・祝日休み）

※担当者の不在などで、当日のご対応ができない場合もございます。ご迷惑をおかけいたしますが、何卒ご理解のほどお願い申し上げます。

ISO 認証取得

当社は医療機器品質マネジメントシステムISO 13485、環境マネジメントシステムISO 14001(工場)を取得しています。

健康セミナー

もあたたかい集いにぜひご参加ください

健康に関するさまざまなテーマを取り上げ、情報を交換したり、健康相談をしたりして充実したひと時を過ごせるイベントです。どなたでもご自由に参加いただけますので、お気軽にお集まりください。※詳しくは、お買い上げの販売店または、最寄りの営業所までどうぞ。



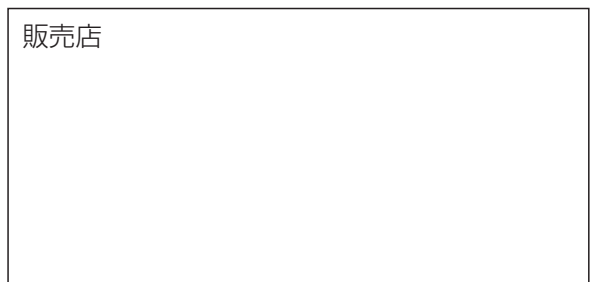
製造販売元  伊藤超短波株式会社

〒332-0017 埼玉県川口市栄町3-1-8 ☎048(254)1015
http://www.itolator.co.jp/

ヘルスケア営業部：営業所

札幌 ☎011(832)1651 横浜 ☎045(949)0024 広島 ☎082(292)3320
仙台 ☎022(306)3883 名古屋 ☎052(703)2207 福岡 ☎092(591)3697
首都圏 ☎048(254)1016 大阪 ☎072(242)1015 鹿児島 ☎099(255)6587

販売店



A1a231159-1810 M1811DL